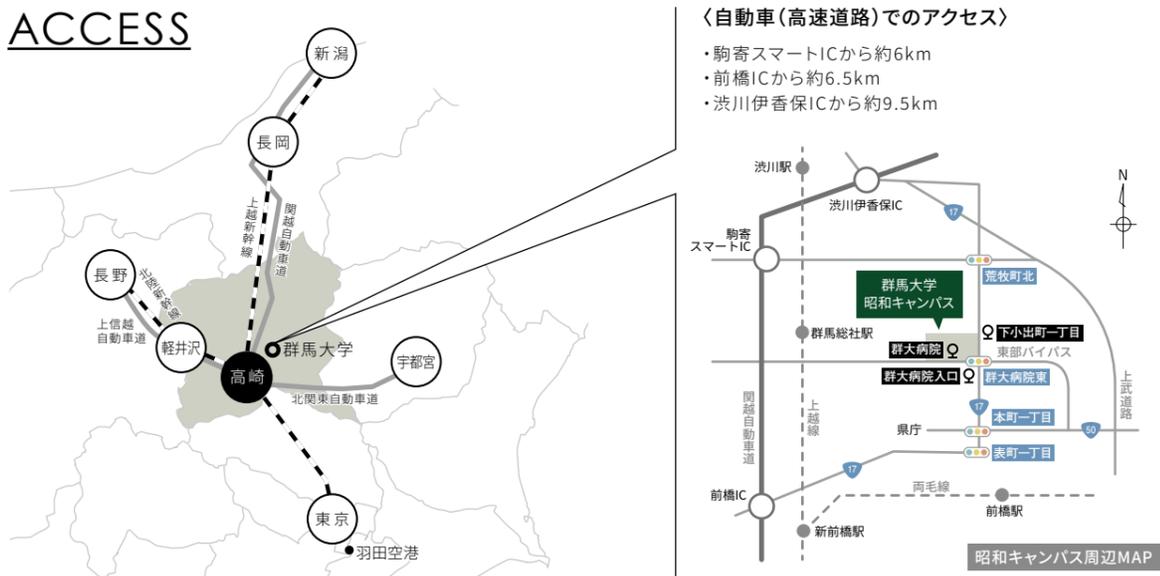
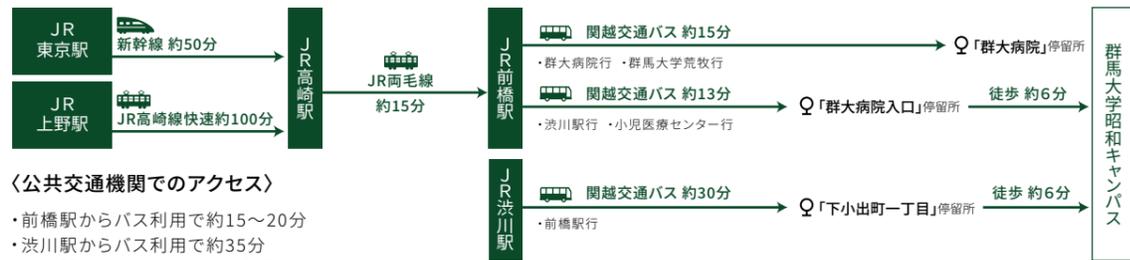


# ACCESS



## 〈自動車(高速道路)でのアクセス〉

- ・駒寄スマートICから約6km
- ・前橋ICから約6.5km
- ・渋川伊香保ICから約9.5km



## 〈公共交通機関でのアクセス〉

- ・前橋駅からバス利用で約15～20分
- ・渋川駅からバス利用で約35分
- ・東京駅から新幹線、在来線利用で前橋駅まで約65分

# 2024 群馬大学 オープンキャンパス

詳細は決まり次第、  
「受験生応援サイト」でお知らせします。

受験生応援サイト ▶

〈対象〉高校生・中学生・保護者等

<https://www.gunma-u.ac.jp/prospective/>



医学部(医学科・保健学科)

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39番地22号



群馬大学公式HP



X



LINE



Instagram



Facebook



YouTube



人が診る、人を診る



医学部 ■ 医学科 ■ 保健学科



## MESSAGE

豊かな人間性を身につけ、地域に根ざし  
世界にチャレンジする医療人を目指しましょう！



医学部長 **調 憲**  
KEN SHIRABE

群馬大学医学部は、1943年(昭和18年)に設置された前橋医学専門学校に端を発し、今年創立81年目を迎えます。北関東における医学・保健学教育と研究の中心として、医学科では多くの医師、医学研究者、医療行政者などを育成し、保健学科では看護師、保健師、助産師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士などの多くの医療人を育成し、医療の発展に大きく貢献してきました。医学部附属病院は、地域医療の中核として社会に貢献しています。さらに重粒子線医学センターでは、日本の大学で最初に設置された世界最先端のがん治療装置を用いて平成22年より重粒子線治療を行ってきました。

医学科は、生命や人体の構造と機能を追求し、疾病の本態を解明し、それを克服するための方策を探求する最先端の医学研究者や知識、技術に加えて優れた人間性を持つ医師を養成することを主な目的としています。保健学科は、総合的で先進的な保健学教育・研究を展開することをとおして、保健医療の専門職として確固たる倫理観と豊かな人間性を持ち、社会的使命を果たすことのできる医療人の育成を目的としています。

医学部では、入学後早期から医療の実際に触れ、医療従事者となる上で必要な知識、技術、医療プロフェッショナリズムを学生自身が身をもって体験できるように配慮しています。また、医療は多くの職種の人たちのチームワークによって成り立っています。医学科生と保健学科生は、一部の教育・実習のプログラム、時間外の運動クラブや文化クラブの活動に共同で取り組んでいます。医学部学生は、スポーツ、文化活動、ボランティア活動などをとおして、広い視野のもとに医学・医療を学び、人間性豊かな医師・医療人に成長することが期待されます。医学部附属病院は、医師と医師以外のメディカル・スタッフが密接に連携し、質の高い医療を提供することを目指しています。

医学は日々進歩しています。その進歩のスピードは増すばかりです。きのうには想像もしなかったことが、今日には漸くできるようになり、明日には日常となることがしばしば起こります。そのために医療者には生涯にわたって学び続け、最新の知識や技術を身につける姿勢が求められます。群馬大学では常に自らを振り返り、足りない点を自己学修によって補う姿勢を身につけていけるよう支援をいたします。また、教育者・研究者・医療行政担当者など幅広いキャリア選択を支援いたします。

医学部では国際交流にも力を入れています。アメリカ合衆国、イギリス、ドイツ、モンゴル、台湾、韓国、インドネシア、タイ、コロンビア、ニカラグアなどの大学とは、学部学生が国際間交流を行っています。学生諸君が先進国や途上国の医療情勢を体験し、外国の医学系の知人と情報を交換し国際感覚を培うことは、将来的にも有用で意義深いことです。医学部では今後も国際交流の充実を進めていきます。

群馬大学で豊かな人間性を身につけ、地域に根ざしつつ世界にチャレンジする医療人を目指しませんか。

## CONTENTS

|                 |    |
|-----------------|----|
| 学部長メッセージ        |    |
| 現役学生座談会         | 01 |
| <b>医学科</b>      | 04 |
| 医学科長メッセージ       | 04 |
| 教育の特徴           | 06 |
| カリキュラム          | 08 |
| 教員紹介            | 10 |
| 卒業生メッセージ        | 11 |
| <b>保健学科</b>     | 12 |
| 保健学科長メッセージ      | 12 |
| 教育の特徴           | 14 |
| カリキュラム          | 16 |
| 教員紹介            | 18 |
| 卒業生メッセージ        | 20 |
| キャンパスマップ        | 22 |
| クラブ&サークル        | 23 |
| キャンパスライフ        | 24 |
| キャンパスライフQ&A     | 26 |
| 2025年度入学者選抜について | 27 |
| 入学について          | 28 |

## 次世代を担う

### 群馬大学医学部現役大学生が語る。

医学科と保健学科からなる医学部。  
最先端の治療や研究が進む医学科、世界に認められたチーム医療教育をリードする保健学科。  
そこで学ぶ現役大学生たちが、群馬大学の学び、医療への思いなどを語りました。



## 群馬大学医学部 現役学生座談会

### TALK MEMBER

(写真 左)  
群馬大学医学部

医学科 4年

#### 小林 ななみ

群馬県  
くま国際アカデミー 出身

GFL生でMD-PhDコース生。群馬大学国際医療ボランティアの会FORSの運営に注力している。ハイキング、刺繍、スキーが好き。

(写真 中央左)  
群馬大学医学部

医学科 4年

#### 水倉 祥太郎

東京都立  
西高等学校 出身

医学部オーケストラでバイオリンを担当している。学生会の執行委員長も務め、写真部に所属。料理と旅行と写真が好き。

(写真 中央右)  
群馬大学医学部  
保健学科  
看護学専攻 4年

#### 知久 桃果

群馬県  
前橋育英高等学校 出身

医学部卓球部とボランティアサークル「LEADS」に所属して活動している。アルバイトは塾講師と飲食店。接客が楽しい。

(写真 右)  
群馬大学医学部  
保健学科  
理学療法専攻 4年

#### 杉本 慈

東京都立  
青山高等学校 出身

学業の傍ら、地域活性化に携わるベンチャー企業やセルフケアアプリ開発をするベンチャー企業で仕事もしている。趣味は旅。

### 医療の道を目指すこと、 群大で医療を学ぶということ

—皆さんにとって「医療」とは何でしょうか？なぜ医療職を目指すと思われたのでしょうか？

**水倉:** ぼくが小学6年生のときに京都大学の山中伸弥教授がiPS細胞でノーベル医学・生理学賞を受賞しました。治らなかつた病気が治るようになる可能性があるということを知って、子どもながらに、医療の面で人の役に立つような発見ができる研究者になりたいと思いました。その後、高校生になって、母校のOBの方が院長をされている病院に1週間、見学と言うか合宿をさせていただいたとき、その病院はかなり郊外にあって地域医療に携わっているところだったので、診

療の様子を見て非常に感銘を受け、臨床医になると考えました。  
**小林:** 私は両親が小児科と産婦人科の臨床医で、二人が家で仕事の話をしているのを見るなど、医師が身近な職業であったことが大きいです。大学受験を考える際には「一度違う分野を見てもいいかな」とも思ったのですが、高校3年生のときに公衆衛生ボランティアでアメリカのウェストバージニア州にあるとても小さい町を訪れた際に、おじいちゃんやおばあちゃんたちに感謝されて、医師ってやりがいがある仕事なんだと改めて感じました。私は地域医療で群大に入ったのですが、地域医療という言葉の実際に触れたのもそのときが最初でした。その町は炭鉱の町だったので肺炎の患者さんも多く、オピオイドクライシス(※1)が問題になっていたり、町にスーパーがなく野菜不足になりがちだとか、そういう経済的・社会的な背景が健康や医療に直結するのだということを感じて、地域医療に貢献したいと考

えました。医療職は人のためになる仕事ですし、万が一世界がひっくり返っても医師は絶対に必要です。自分にとって「一生を捧げて後悔しない、頑張る価値のあるもの」が医師という仕事だと思っています。

**杉本:** ぼくは高校に入って陸上を始めたことがきっかけで、理学療法士を目指すようになりました。指導者が来てトレーニングや技術的なことを指導してくれる部活ではなく、自分たちで練習メニューを考えて取り組む毎日だったので、自分でいろいろ考えながらストレッチやトレーニングをしていました。そんな中で、「この筋肉を鍛えたい」など目的を持ってトレーニングをして狙った効果が出ると面白くて、体の構造などにも興味をわきました。そうした経験を重ねるうちに、これを仕事にできれば面白いんじゃないかと思うようになり、この道を志しました。理学療法は比較的新しい医療で、群大で今教えてくださっている教授陣は斯界の先頭を走ってこられた方々も多く、そういう方に教えていただけるのは群大に来てよかったと思うポイントです。

**知久:** 将来は行政保健師になりたいと考えています。私は姉妹たちの世話をすることや子どもと関わるのが好きで保育士や学校の先生に憧れていたのですが、中学生になって、子どもと関わるだけではな



くて医療の面から子どもを支えるような職業に就きたいと考え始めたとき、母から保健師という職業があることを聞きました。「保健師は家庭訪問や健診などで子どもやお母さんに関わることができるから、合っているんじゃない?」と。そこから看護の道を目指すようになりました。大学に入って、さまざまな健康課題を抱える人々に対する支援を学び、保健師は子どもだけでなく地域に暮らす幅広い年代の方にアプローチできる良さがあるなと感じました。もともと人とコミュニケーションをとることが好きなので、ますます憧れの職業になっています。

——“群大で”医療を学ぼうと思った理由は何でしょうか?

**杉本:** 祖父母が群馬在住なので群馬県になじみがあったこと、関東にある国立大学で理学療法が学べるのは群大だけだったので。実家が東京なので、帰省しやすさも考慮すると群馬はいいなと思いました。

**小林:** 将来のことを考えると、群大の地域医療枠で学ぶことは有意義だと考えました。地域医療枠で入学すると、その中で縦横のつながりができます。また、私はグローバルフロンティアリーダープログラム(GFL ※2)に参加しているのですが、GFLに参加することで他学部の友

人もできるので、医療系に特化した大学よりも魅力的に感じました。

**水倉:** ぼくは杉本さんと同じで祖父母の家が群馬県内にあってなじみがあったこと、小林さん同様に地域医療枠で入れることが大きかったです。低学年のうちから病院見学のバスツアーに参加できて多くの病院を見て回れるのは地域医療枠のいい点だと思います。ぼくは最初は研究者になりたかったので、基礎医学の先生に付いて研究をしていたこともあり。群大は臨床とともに基礎医学の先生方も実力ある方がそろって

いて研究も活発で、研究が身近なところにあるなと感じます。

**知久:** 私の両親が群大の教育学部出身なので、群大はずっと身近な存在でした。また、将来群馬で働きたいと考えていたので、地元の大学で学んだことを地元に戻りたいなと思いました。

**小林:** 群大に入学してみてもう思うのは、やりたいことが何でもできる大学だということです。部活やサークルもできるし、国際関係に興味があればGFLに参加したりEnglish Caféで英会話を学んだり。研究がしたければMD-PhDに入って研究して論文を書くこともでき、MD-PhDでなくてもアルバイトとして研究室に入ることもできます。留学がしたければ、保健学科はたくさんの制度もあり、医学科でも多くの学生が自主的に海外のプログラムに応募していて、相談できる先生もいて窓口もあります。意欲次第で新しい道が開ける大学です。

**水倉:** ぼくは医学部オーケストラに入っているのですが、今度、群大全体の音楽系サークルで集まって一つのオーケストラをやろうという話があって、クラウドファンディングをして準備したりしています。こういうって総合大学ならではの面白さだなと感じますね。それと、前橋は地理的に便利だなと思っています。東京からも近いし、軽井沢にもすぐ行けるし、冬はスキーにすぐ行けるし。

**杉本:** 車さえ持てば、群馬は本当に住みやすいところですよ。必要な店は大学周辺にそろっていますし、郊外型店舗で面積が広いから品そろえも充実しているように思います。下宿生としては、大都市に比べて家賃が安いというのも大きいです。

**小林:** 身近に自然があるのもすごくいいと思います。東京に行った高校の友人たちが群馬に戻るたびに「空が広い!」って言うんです。試験勉強などで切羽詰まっているときでも緑や広い空を見ると気持ちが安らぐので、日頃からそういうので心が少しずつ癒されているんじゃないでしょうか。それと、受験の面接のときに「群馬のいいところは?」と聞かれて、パツと思いついたのは、やっぱり災害が少ないということ。大



きな地震とか津波の心配が少ないというのは、将来的に群馬に住みたいと思う理由の一つでもあります。

**杉本:** 保健学科の観点から言うと、医学科と一緒にあるということで、解剖などが、ほかの医療職養成校に比べて

実践的なところまでできるのがメリットだと思います。解剖は見学だけの学校もあると聞きますが、群大では自分で解剖の実習ができます。

**知久:** 大学病院が敷地内にあることも利点です。3年次に領域別実習があり、成人や小児などの実習を群大病院でさせていただいたのですが、働いている方々も群大出身の方が多いので「何か分からないことある?」と聞いてくださったり、とても雰囲気がいいなと感じました。実習に行ったあとすぐ大学に戻って自分の勉強時間に使えますし、時間を有効活用しながら実習期間を過ごせました。

**杉本:** 理学療法だと、附属病院で授業の一環として症例を扱わせていただくときに、実際にリハビリテーション科に行って患者さんにいろいろ関わらせてもらいながらその体験を授業での発表に使うなど、実習以外にも身近に実際の症例を見せていただけるのもいいですね。

## 思い描く“将来の自分”のイメージ

——この先、どんな医療人になることをイメージされていますか? 現時点での思いをお聞かせください。

**小林:** 入学時からずっと思い描いている理想は、グローバル(※3)に働ける医師になることです。幼少期から培った英語力を生かして、国際的な視野を持ちながら地域医療に貢献できる医師になりたいです。例えば、県内で働く外国人の方がたくさんいますが、国籍にかかわらず、壁を感じずに医療を受けられるようにしたい。また、海外に勉強にいて、成果を持ち帰ってきたいです。地域医療枠なので卒業後は10年間は群馬県内で働くという形になりますが、その間にも5年間は県外で学んだり産休に使ったりと自由にできる期間があるので、最先端の医療技術や医療制度などを海外で学んで、成果を地元を持ち帰れる人材になればいいですね。

**知久:** 今、社会の変化が大きい中で住民の方が抱えている健康問題や生活背景が多様化しているので、その中で地域の保健師ができることを考えてやっていきたいです。健診や窓口など、来てくれた方々に対して適切な情報を提供したりや精神的なアプローチをしたりすることも大切ですし、自分の困難を自ら言えない人たちもいると思うので、そ



う人たちに対して保健師のほうからリスクをアセスメントしたり、発しているサインに気付いてあげたりということに心掛けられるような保健師になりたいと思っています。

**水倉:** 高校生のときにお世話になった先生は総合診療をやってらっしゃる方で、患者さんが訴えた部分を診察したあとで、「ほかのところはどうですか?」「ここは大丈夫なの?」というように声をかけていて、そういう姿に憧れを感じました。ぼくの祖父母もそうなのですが、高齢者は複数の疾患を持っている人が多く、それを包括的に診療することができるような医師が必要だと考えます。自分の専門はきちんと持ちつつも、広く診療できる医師になることが理想です。

**杉本:** 東京から群馬に来たこともあり、地域医療にすごく関心を持っています。僻地医療の現場などを見る中で、「その患者さんにとってのありたい生活の最終的なスタイル」のような、そういう「最終的な出口」を決めて、その人のなりたい姿を実現できるというところにフォーカスしていけるような理学療法士になりたいと思いました。ですので、最終的には訪問でのリハビリのような、回復期の最終段階でのリハビリを担当できるのが、自分の理想像かなと考えています。

——群大医学部を受験する皆さんへのメッセージをお願いします。

**水倉:** 大学で学べるということというのは「自分が本当に興味あること」です。特に医学部は、大学で学んだことを卒業後にダイレクトに仕事で使うことになる学部です。受験勉強を乗り越えれば、そんな楽しい学びが待っていると頑張ってほしいです。

**小林:** 気楽に頑張って、と言いたいです。仮に今年受験に落ちてしまったとしてもそれで終わりではないので。「この一回で絶対に決めない」と根を詰めるととてもストレスになってしまうと思うので、「なんとかなる」「なるようになる」と思って、今想像しているおりの道ではなく迂回路に見える道に行ったとしても、そこで出会うものや学ぶことはすごくたくさんあるので、あまり不安に思わずに今できることを一杯やってもらえればいいのかと思います。

**杉本:** 理学療法士は、専門学校でも資格は取れますが、大学はやはり、より実践的で高度な部分を学ぶ機会が得やすい環境だと思うので、そういう部分を楽しみにしながら群大に来てもらいたいです。受験勉強で強化した基礎学力は大学に入ってから学びを支えてくれるので、着実に一つ一つ進めていってもらえればいいのではないのでしょうか。

**知久:** 勉強はもちろん頑張ってほしいと思うのですが、それ以外のたくさんの経験も大切にしてほしいですね。私は高校でボランティア部に入っていたのですが、そこでの経験が、今思い描く仕事のやりがいに結び付いたり、そのときに会った人たちからたくさん学ぶ実感があるので、勉強を頑張しつつ、息抜きもしながら、自分の好きなことを続けたり、挑戦したいと思ったことに取り組んでみるのもいいと思います。

※1 オビオイドクライシス:アメリカで社会問題化している、麻薬性鎮痛薬中毒患者の激増のこと。  
※2 GFL:詳細はp8を参照。  
※3 グローバル:GLOBAL+LOCAL。地球規模の視野で思考し、地域を舞台に行動するという考え方。



# 医 学 科

SCHOOL of MEDICINE



## 医学科が探求する“SES”



Science 科学的知

Ethics 倫理

Skill 技能

医学科は、科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の探求と、それらの統合による、医学の研究と教育の推進、ならびに医学と医療をリードする人材の育成を理念に掲げています。理念の実現に当たり、アウトカム (卒業時に目指すべき学生像) を設定し、アウトカム基盤教育カリキュラムの実施によって、国際基準の実力を有する、これからの時代に生き生きと活躍できる主体性と自律性を備えた医師の育成を目指しています。



北関東を代表する国立大学医学部。

北関東に広がる強力な関連医療機関ネットワーク。

### 学科長メッセージ



### 科学的知・倫理観・医療技術 バランスのとれた医師、研究者、 教育者の育成を目指して

医学科長 調 憲

群馬大学医学部医学科は「医学・医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の3つの面にわたって生涯自己研鑽を続けることができる」医療人の育成を目指しています。

医学部医学科は「生命」を学問する、それ自体が多様な学科です。群馬大学医学科では優れた医師、研究者、教育者としての皆さんのキャリア形成を幅広く支援します。

outcome

## 卒業時に身につけておくべき 8つの力

### A. 自己省察力

自分にとって何が課題であるかを見定め、自己管理に努めながら、1つずつ課題に取り組むことができる。

### B. 知識の獲得と知識を応用する力

基礎医学、臨床医学の各分野における知識を身につけ、それらが互いに関連していることを理解し応用することができる。また、医師が持つべき知は医学にとどまらないことを理解し自然科学をはじめとする幅広い分野の知識を身につけ、それらを医学・医療に応用する力を培う。

### C. コミュニケーション能力

相互理解と人間関係の構築を意識し、患者やその家族、スタッフと対話を重ねることができる。

### D. チーム医療の中で協働する力

医療チームの他の構成員と積極的に対話を重ねる意義を理解し、他職種の専門性を尊重しながら対等な立場に立って協働することができる。

### E. 基本的な総合診察能力

統合された知識、技能、態度に基づき、患者にとってより良い医療を提供するための実践的能力を有する。

### F. 地域医療の向上に貢献する能力

医療の社会的・経済的側面を把握し、地域医療に貢献するための能力を身につけている。

### G. 医学研究を遂行する能力

医学・医療の発展に資する研究を遂行する意欲と資質を備える。

### H. 自己研鑽

医師としてのキャリアを継続させて、生涯にわたり自己研鑽を行う意欲を持ち続ける。

医学科について  
詳しくはWEBをご覧ください



# 教育の特徴

## POINT 01 安心・安全で質の高い医療を提供する人材の育成を目指す 医療の質と安全に立脚した医師の養成

全国の医学部の中でも先駆けて「医療の質・安全学講座」を設置しており、安心・安全で質の高い医療を提供する人材の育成を目指しています。6年間を通して、基礎・臨床医学の知識・技能に加え、行動科学やシステム思考、コミュニケーション、チームワーク、患者参加型医療など、幅広く学べるカリキュラムを提供し、さまざまなバックグラウンドを持つ患者さんやご家族の多様なニーズに対応できる医師としての力を身に付けます。また、安心・安全で質の高い医療を提供するためには、多くの専門職が力を出し合い協働する「チーム医療」が不可欠です。学生のうちから、ほかの医療専門職を目指す学生と連携する経験が持てるよう、保健学科の学生との合同講義・演習も設定されています。



チーム医療を学ぶ授業でのグループディスカッションの様子

## POINT 02 地域医療マインドを持つ意欲的な人材を支援する 地域医療枠制度

群馬県の地域医療に貢献したいという強い意思を持って、これまでに250名を超える「地域医療枠学生」が群馬大学で学んでいます。学生時代から地域医療マインドを培っていきけるよう、「群馬県キャリア形成卒前支援プラン」に沿って、低学年から医師不足地域での地域医療体験セミナーや地域医療枠上級生との情報交換会など、複数の活動に参加します。医学生自らが「地域で」学ぶことを通じて、医師としての将来像を描きながら県内の医療情勢について関心を深めていきます。地域医療研究・教育センター、群馬県、関連医療機関と連携し、地域医療に関心のある医学生を「オールぐんま」で支援しています。



群馬県臨床研修病院等見学バスツアーにて



### STUDENT'S VOICE 地域医療枠制度

#### 群馬の医療全体を支えられる医師を目指す

群馬県で医師として働くことを考えたとき、地域医療枠を持つ群馬大学で学ぶことはメリットがあります。実習で県内の病院に行けることや、同じく群馬で働くことを望む友と出会えたことに、大きな意義を感じています。また、地域医療枠生として学ぶ中で地方の医師不足の実態を知り、解決策について考えを深めています。小児科医を目指しており、卒業後はまずは県内で活躍し、その後、国内留学で自分の知識や能力を向上させ、それらを群馬に持って帰ることで群馬の医療を発展させる存在となっていけたらと考えています。



松村 太一  
医学科 6年  
群馬県立高崎高等学校 出身

|              |           | 時 間 割 |         |       |       |            |
|--------------|-----------|-------|---------|-------|-------|------------|
|              |           | 月     | 火       | 水     | 木     | 金          |
| 1~2          | オリエンテーション | 外来見学  | 外来見学    | 外来見学  | 外来見学  | 外来見学       |
| 3~4          | 症例提示      | 患者診察  | 検査見学    | 全体回診  |       | 患者診察       |
| 5~6          | カンファレンス   |       | カンファレンス | 患者診察  |       |            |
| 7~8          | カルテ記載     | カルテ記載 | カルテ記載   | カルテ記載 | カルテ記載 | カルテ記載・症例発表 |
| After school | 部活動・アルバイト | 部活動   |         | 部活動   |       | アルバイト      |

### STUDENT'S VOICE MD-PhDコース

#### その時々のできることを一生懸命に

群馬大学は、地域に貢献できる医療者の育成を目的としたプログラムや、多種多様な医療や医学研究を学ぶプログラムが充実していて、学生の意欲に応えてくれる大学だと実感しています。私はMD-PhDコースに在籍しており、通常の講義にプラスして、研究室で生物系の実験を行っています。講義で学ぶ知識が、実際に生物の体内や薬品においてどのように活かされているのか学ぶことができ、興味深いです。将来医学に関わる仕事に就く上で、MD-PhDで行った研究や大学で培った人間関係は必ず生きてくると思います。



佐野 綾音  
医学科 3年  
埼玉県大宮開成高等学校 出身

|              |       | 時 間 割   |   |     |     |       |
|--------------|-------|---------|---|-----|-----|-------|
|              |       | 月       | 火 | 水   | 木   | 金     |
| 1~2          | 公衆衛生学 |         |   |     |     |       |
| 3~4          |       | 薬理学     |   |     | 免疫学 | ウイルス学 |
| 5~6          |       |         |   | 細菌学 |     |       |
| 7~8          |       | 医の人間学3A |   |     | 衛生学 | 寄生虫学  |
| After school |       |         |   |     |     |       |

## POINT 03 学生のうちから研究に参加 MD-PhDコース

医師には患者さんを診る臨床医のほかに、病気の予防や治療を目指して研究を行う研究医もいます。研究医を目指す学生はもちろん、臨床医を目指す学生でも研究に興味があればMD-PhDコースがお勧めです。本学のMD-PhDコースは放課後や長期休暇を利用して研究活動に参加する方式をとっており、医学部は6年間で卒業できます。MD-PhDコースでの活動が認められれば、将来大学院に進学したときに通常より1年早く博士の学位を取得することが可能です。また、研究に興味のある学生のネットワークである医学部学生研究会で学生同士の交流を深めることもできますので、研究に少しでも興味のある方は参加してみてください。

## POINT 04 地域特性や医療に関わる さまざまな体制を体感できる 豊富な実習施設

県内全域および県外の施設・病院の協力のもと、群馬大学医学部附属病院以外にさまざまな産業構造を持つ地域での実習を行っています。例えば、低学年での介護老人保健施設や介護老人福祉施設における実習、高学年の診療参加型臨床実習では、豊富な実習先の中から、自分の学びたい分野、自分の目指す将来像を見据えた実習先を選択できるのが魅力です。各実習協力施設とは定期的に意見交換をする場を設けており、より良い学びのために、常に実習の改善、向上を図っています。

## POINT 05 充実したシミュレーション教育 スキルラボセンター

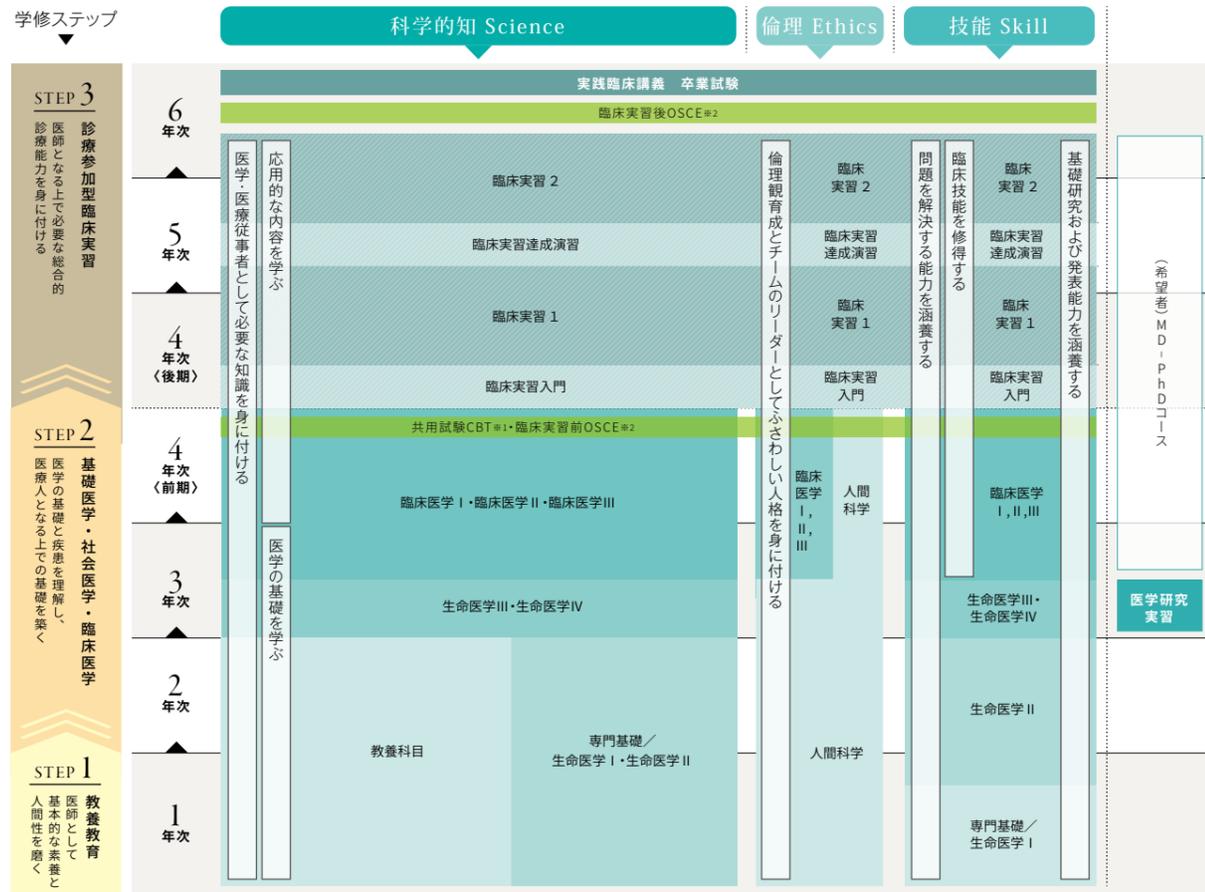
医学部附属病院のスキルラボセンターは、採血や気管挿管、縫合といった基本の手技から、内視鏡検査や超音波検査、そして腹腔鏡手術、ロボット手術などの最先端の医療技術までトレーニングを行うことができる、さまざまなシミュレータを有する国内屈指の施設です。低学年の基礎医学の実習から高学年の臨床実習まで、さまざまな場面で医学部の学生が利用しています。低学年から実際の医療機器に触れたり、診療場面を再現するシナリオを設定してトレーニングを行うことも可能です。さらに、病院で働く医師や看護師、薬剤師などの医療従事者も利用し、医療技術の維持、向上に役立っています。

## POINT 06 入学から卒業まで学生をサポート チューター制度

医学科では、学生一人ひとりにチューターとして教授を割り当て、個別に指導と助言を行う「チューター制度」を設けています。チューターは、入学時から卒業時まで一貫して学生をサポートします。学生生活において困ったことがあった場合、学修上の問題があった場合、留学先や研修病院先への推薦書が必要な場合など、あらゆる場面で相談に乗り、適切なサポートをします。また、チューター制度以外にも学生相談員制度なども設けており、教職員一体となって学生生活をサポートしています。

# カリキュラム

医学科は、医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知(Science)、倫理(Ethics)、技能(Skill)の3つの面(SES)にわたって生涯自己研鑽を続けることができる学生の育成を目指します。



※随時カリキュラムの改善を図っており、今後変更になる可能性もあります。

**GLOBAL**

国際的視野を持つ学生を応援!

◆ グローバルフロンティアリーダー (GFL) 育成プログラム

自国および他国の文化・歴史・伝統を理解し、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国内外において主体的に活動できる人(グローバルフロンティアリーダー)を養成するコースです。入学後に選考が行われます。

WEB PAGE

GFL 育成プログラム



◆ 海外留学

夏休みを利用してインドネシアやコロンビアなどの大学や病院を訪ね、海外医療の現場を体験することができます。海外の医療の実情を学び、他国の医学生と友達になるチャンスです。

# CURRICULUM

## PICKUP CURRICULUM

**教養教育** (1年次～2年次)

基礎医学・社会医学・臨床医学 (2年次～4年次前期)

診療参加型臨床実習 (4年次後期～6年次)

**教養教育・人間科学・専門基礎**

医師には事実を客観的に捉えて分析し、既知の部分と未知の部分明らかにした上で、問題解決の道を探求する科学者としての態度が必要となることは言うまでもありません。一方、臨床の現場での問題解決では、前もって用意されている正解があるわけではありません。一人ひとりの患者さんが満足できる医療を提供するためには、病気を抱えた人の気持ち、その生活様式や社会的背景までも細やかに理解しようとする態度が不可欠です。本学では特に社会の現実の中で生きる他者の生へと関心を向け、心情を想像する力、人とのコミュニケーションの図り方、自己表現力、他者のニーズに対して柔軟に対応する仕方を学びます。医師になろうとする者に必要な基本的な素養を身に付けていきましょう。

**生命医学**

解剖学、生理学、病理学、細菌学、法医学等さまざまな専門分野を学びます。医学を理解するには、まず正常な人体の構造と機能を学ばなければなりません。これらの基盤の上に、病気の原因やその成立過程を理解するために、通常の営みと異なった状態についても学んでいきます。また、公衆衛生学等で、健康に対する社会としての取り組みについても学びます。

**臨床医学**

循環器疾患、呼吸器疾患、内分泌・代謝疾患、神経・精神系疾患等の幅広い疾患について、病態を理解しながら病気の症状や診断、治療等について学びます。診察や救命救急等の基本的な臨床手技の修得にはシミュレータも活用しています。4年次までの科目の全てに合格し、全国共通の試験である共用試験 CBT(※1)、臨床実習前OSCE(※2)に合格すると、臨床実習生(医学)およびMedical Doctor Candidateとして認定されます。

**医学研究実習**

少人数班で研究室に所属し、医学研究の基本的技術やデータの解析方法について実習形式で学びます。医学研究に興味のある学生は、MD-PhDコースに進むこともできます。

**臨床実習**

臨床実習生(医学)に認定されると、医療チームの一員として診療参加型臨床実習に参加する資格が得られます。指導者の監督のもと附属病院および県内外の臨床実習協力施設で研鑽を積みながら、医師としての職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を身に付けます。

臨床実習を修了し、全国共通の実技試験である臨床実習後OSCE、実践臨床講義、卒業試験に合格すると晴れて卒業となり、医師国家試験の受験資格が得られます。ただし、国家試験の合格は医師としてのスタートラインに立てたことを意味するに過ぎません。生涯を通じて学び、社会に貢献する医師、研究者、教育者、医療行政担当者になってほしいと思います。

**医師に求められる素養**

科学者としての素養  
人と社会を理解する文化的な素養

人類がこれまで築き上げてきた種々の学問(文化)を学び素養を身に付ける

教養教育 | 人間科学 | 体験実習

◆教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー) ～このような教育を行います～

<教育の目標>

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知(Science)、倫理(Ethics)、技能(Skill)の3つの面(SES)にわたって生涯自己研鑽する力が付く教育

1. 自分をふりかえり他者を思いやる心が育ち、コミュニケーションを通して相互理解を図る態度が身に付く教育
2. 自然科学、医学、医療、人間と社会に関わる知を習得し、それを実践でいかす力が身に付く教育
3. 新たな課題にも対応できる問題解決能力が身に付き、リサーチマインドが育つ教育
4. 生涯にわたって社会貢献と自己研鑽に努める意欲が育つ教育

<教育課程の編成>

1. 教養教育科目では幅広く深い教養、総合的な判断力、自然との共生を基盤とした豊かな人間性を涵養する。
2. 専門教育科目では、講義と実験、実習を通して医師、医学系研究者、医療行政担当者として社会に貢献するために必要となる知識、技能、態度を身につけさせる。
3. 臨床実習では、共用試験に合格し、Student Doctorと認定された学生が実践的な知識と技能を学ぶとともに、医師にふさわしい態度を身につけさせる。
4. 6年間を通して、医療安全、医療倫理、多職種連携の学修機会を提供する。
5. カリキュラムツリーやカリキュラムマップを用いて、教育課程の体系的な構造を明示するとともに、各科目の教育内容をシラバスに詳述する。

<教育内容・方法>

1. 教養教育科目および専門教育科目では、能動的学修を取り入れて深い教養、総合的な判断力、自然との共生を基盤とした豊かな人間性を涵養する。
2. 人間科学科目では、講義、実習に加えて、体験型、討論型授業を取り入れ、自分をふりかえり他者を思いやる心が育ち、相互理解を図る態度を身につく教育を行い、医師になろうとする者に必要な、知識と技能だけでなく基本的な素養を身につけさせる。
3. 生命医学科目、臨床医学科目、臨床医学講義・演習では、講義、演習、実習に加えてグループ学習を取り入れ、医師になろうとする者に必要な、知識と技能、新たな課題にも対応できる問題解決能力を身につけさせる。
4. 臨床医学実習では、チーム医療実習や臨床実習で医学、医療、人間と社会に関わる知識と技能及び医師としての素養を身に付け、実践でいかす力を身につけさせる。

<学修成果の評価>

1. 各科目において、シラバスに記載した評価方法に基づき到達目標の達成度を評価する。
2. 科目単位の評価と併せ、アウトカムに基づき医学生として求められる資質・適性・能力についても評価を行う。
3. 学修成果の評価は学則に従いS、A、B、C、Dの5段階での判定を行う。
4. 4年次に全国共通の学修到達度評価である共用試験を実施し、診療参加型臨床実習に参加するための知識・技能・態度について評価する。
5. 6年次に診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験を実施し、総合的臨床能力について評価する。

## 医学科教員紹介



皮膚科学 茂木 精一郎 教授

### 群大で学び、世界を舞台に活躍してください

群馬県は災害も少なく、自然豊かで、物価も高くなく、暮らしやすい場所です。群馬大学医学部の昨年度の新卒学生の医師国家試験合格率は100%でしたので、本学で学ぶことによって医師としての十分な知識や技術を身に付けることができると考えます。

私の専門は皮膚科で、皮膚に生じる全ての疾患の診断と治療を行っています。皮膚科はアトピー性皮膚炎や膠原病などの内科的疾患と、皮膚悪性腫瘍・良性腫瘍の手術や化学療法といった外科的疾患の両方を扱うため、幅広く学べる点がとても面白いです。また、皮膚疾患に悩む世界中の患者さんを救う新たな治療法の開発を目指した基礎研究・臨床研究を海外の研究機関と連携して行っています。国内のみならず世界で活躍することができる医師の育成を目指しています。

学生の皆さんには、患者さんの気持ちに寄り添える思いやりのある医師、また、グローバルに活躍できる医師や研究者になってもらいたいと願っています。



病態病理学 松村 望 講師

### 質の高い医療を提供できる医療従事者に

本学は教育内容が充実しており、例年高い国試合格者を誇ります。またチューター制度があり、学生一人一人へのケアが行われ、安心して学べる環境です。

私が担当している病理学は、病気に侵された臓器を観察し、組織や細胞を顕微鏡を用いて調べることで、病気の原因や、なぜその病気が起こったのかを明らかにし、病気の診断を行う学問です。病気により引き起こされる臓器や組織、細胞の形の変化を直接見て調べられるところに、病理学の面白さがあります。

学生指導においては、「どのような場面でも冷静に対応し、患者さん一人一人に適切な医療を施せる医療従事者」「患者さんの立場に寄り添える医療従事者」「共に働く人々を尊重し、より良いチーム医療を行うことで、患者さんに質の高い医療を提供できる医療従事者」の育成を目指しています。これらを実現するためには、在学中のみならず卒業後も常に学ぶ姿勢を忘れず、知識を蓄え、とともに多くの経験を積んでいくこと、日頃から他者の気持ちを慮る姿勢が重要と考えます。ぜひ意欲を持って学び、豊かな人間関係を築いていってください。



消化器・肝臓内科／  
光学医療診療部 栗林 志行 助教

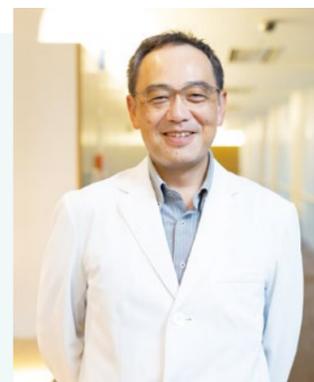
### 患者の立場に立って診療にあたる医師に

私の専門である消化器・肝臓内科は、内科の中でも患者さんが多い分野です。内視鏡診療をメインに行っていますが、内視鏡診療は日進月歩であり、従来行っていた検査だけではなく、早期癌であれば内視鏡治療で治すこともできるようになっています。外科的側面も持ちつつ、症状や検査結果から診断し治療を行う内科の醍醐味もあります。

学生の皆さんには、患者さんの期待に応え、患者さんに寄り添える医療従事者を目指してほしいと思っています。医療従事者は最先端の診療について日々勉強し、手技の向上を図り、最適な治療を提供すると同時に、患者さんの不安や悩みに寄り添う姿勢も必要です。患者さんの不安や悩みを理解し受け止める力を養うために、学生時代には医療の枠にとらわれず、さまざまな経験を積んでください。群馬大学は学生生活に必要な環境が整っていますので、充実した学生生活を送ることができると思います。

大学生活の中では、勉強や学生生活、卒業後の進路についてなど、多くの悩みも生まれることでしょう。話していただければ力になることもできると思いますので、遠慮なく相談してください。

## 卒業生メッセージ



石川 仁 先生  
1995年卒業

国立研究開発法人量子科学技術  
研究開発機構 QST病院 病院長

放射線治療の発展と  
保険適用拡大に尽力

放射線である重粒子線を用いたがん治療を実践するとともに、重粒子線治療をより多くの方が利用できるよう、保険適用を目指した研究を数多く行っています。欧米と比べると日本は放射線治療医が少ないため、医学生や専攻医の方たちに放射線治療の魅力を理解してもらえるようなセミナーや実習も主催しています。最近、病院長という、プレーヤーとしての仕事だけでなくマネジメントもする立場に変わったため、日々勉強しています。

大学時代には、同級生だけでなく多くの先輩・後輩と仲良くなりました。それは今も私の財産です。自分一人で患者さんを助けることはできません。自分とは異なる内科、外科の先生方、看護師の方々に支えられて治療を行うことができます。皆さんも、多くの人と交流し、広い視野や豊かな人間関係を手に入れてください。



塚田 蓉子 先生  
2020年卒業 (地域医療枠)

独立行政法人地域医療機能推進機構  
群馬中央病院 産婦人科 医員

患者さんに最善の医療を  
提供できる産婦人科医に

初期研修医を修了後、群馬大学附属病院の産婦人科の後期研修医プログラムに入り、今はローテーションで群馬中央病院の産婦人科で働いています。分娩、婦人科手術、妊婦健診などを業務とし、専門医取得に向け、多くの症例を経験させていただいています。医学科では基礎医学→臨床医学→病院実習と進むため、座学で学んだことがどのように臨床に活かされているのか系統立てて学ぶことができます。学生時代の知識が現在の地盤になっていると感じます。

大学では6年間、学業の傍ら剣道部で活動しました。大会も多く、それに向けて仲間たちと練習に励み、汗を流したことは、現在仕事を上で体力的にも精神的にも役立っています。部活動を通じてできた人脈に、働き始めてからも助けていただくことが多いです。何かに打ち込むことは決して無駄にはならないのだと感じています。

### ● 医師国家試験合格率 (新卒者)

2024年  
医師国家試験 合格率

100%  
(95.4)

※( )内 全国平均

▶ 医師国家試験合格率推移

|      | 群馬大学 (%) | 全国 (%) |
|------|----------|--------|
| 2024 | 100      | 95.4   |
| 2023 | 93.8     | 94.9   |
| 2022 | 99.1     | 95.0   |

▶ 医師国家試験受験者数と合格者数推移

|      | 受験者数 (人) | 合格者数 (人) |
|------|----------|----------|
| 2024 | 129      | 129      |
| 2023 | 130      | 122      |
| 2022 | 108      | 107      |

### 主な就職先

群馬大学医学部附属病院  
前橋赤十字病院  
国立病院機構高崎総合医療センター  
国立研究開発法人国立国際医療研究センター  
東京大学医学部附属病院  
東京医科歯科大学病院  
自治医科大学附属さいたま医療センター  
埼玉医科大学総合医療センター  
筑波大学附属病院  
千葉大学医学部附属病院 他

### ◆ 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) ～このような人材を育てます～

〈学位授与の条件、達成度・能力評価の基準〉

所定の年限を学し、かつ所定の単位を修得した、次のような者に学士の学位を授与します。

〈学修成果の目標〉

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知(Science)、倫理(Ethics)、技能(Skill)の3つの面(SES)にわたって生涯自己研鑽を続けることができる者

具体的には、次のとおりです。

1. 医師にふさわしい倫理観と責任感を有し、医療チームの中で医師として適切な行動をとることができ、他者と信頼関係を築ける者
2. 医師、医学研究者、医学教育者又は医療行政担当者となるために必要な知識を身に付けるとともに、新たな課題にも対応できる問題解決能力を修得した者
3. 医学知識に裏打ちされた臨床と研究の能力を修得し、患者により良い医療を提供する能力と、医学や医療の発展に貢献する意欲を備えた者

OB・OG MESSAGE

TEACHERS



# 保健学科

## SCHOOL of HEALTH SCIENCES



## 保健学科が重視する“Teamwork”



|                      |          |
|----------------------|----------|
| Nursing              | 看護学専攻    |
| Laboratory Sciences  | 検査技術科学専攻 |
| Physical Therapy     | 理学療法学専攻  |
| Occupational Therapy | 作業療法学専攻  |

保健学科は「看護学専攻」「検査技術科学専攻」「理学療法学専攻」「作業療法学専攻」の4専攻から構成されています。いずれの専攻においても、学修を通して、豊かな見識を持ち、人間の尊厳を尊重する、全人的医療を担う人材を育成します。専門的な知識・技能を有し、高度化・専門化する保健医療の担い手となる人材、また、チーム医療においてリーダーシップを発揮できる人材、国際社会でも活躍できる専門職を育てていきます。



国際的保健学研究の拠点形成 / 高度専門医療人の養成  
チーム医療教育の推進 / 地域包括ケアシステムの支援

### 学科長メッセージ



## 私たちは、世界トップレベルの 保健学の研究・教育機関を目指しています！

— 保健学で一人一人を大切にする公平な社会をつくる —

保健学科長 齋藤 貴之

現代において、保健学の重要性がこれほど注目される時代はありません。保健学は、疾患予防や健康増進について情報や手段を提供することで、個人だけでなく、社会全体の健康に貢献できます。人間を身体面のみならず、精神的、社会的側面からも把握し、健康の維持、疾病の予防・診断技術・治療・リハビリテーション、さらには介護予防を探究する全人的医療の学問です。

群馬大学保健学科は、「トップレベルの専門の研究・教育力」をベースとして、「群を抜いた、さまざまな国々との国際交流」、「附属病院・研究所との緊密な連携」、「日本有数の先進的な大学院制度」、「先進的なデジタル教育」、「WHO認定のチームワーク教育」など先進的な取り組みを行っています。さらに、2024年からパブリックヘルス学環を新設し、保健学をリードします。

高度専門化が進む医療現場では、それぞれの職種が専門技術を向上させ、チームワークで連携することで初めて、人々が安全かつ安心な医療を受けることができます。保健学は、Diversity&Inclusionの社会、個々の「違い」を受け入れ、認め合い、一緒に生きていく公平な社会を目指します。ぜひ、私たちのもとで保健学を学び、発展させ、一緒に社会をより良い方向に進めましょう。全人的医療を世界に広めましょう。

## 地方国立大学の枠内では収まらない 本学保健学科の大きな魅力

### 1. 国立大学の保健学科・保健学研究科の中で、群馬大学は大規模かつ貴重な存在

医学部を持つ国立大学(42校)の中でも群馬大学の保健学科・保健学研究科は規模が大きく、医学系研究科と独立した保健学研究科を持っています。

入学定員数は、学科も研究科も上位(10位以内)にランキング。それだけ優秀な人材が生まれます。さらに、関東の国立大学で看護、検査、理学、作業の4専攻を持つのは群馬大学のみで、貴重な存在です。

### 2. 医学科と保健学科の両輪に加えて、医学部附属病院、研究所を同一敷地内に持つ

地方国立大学附属病院が立地している場所の中では規模の大きな前橋都市圏にあり、地方国立大学としては病床数も多くなっています。また、首都圏へのアクセス手段が多彩かつ便利で、学会参加や就職活動にメリットがあります。

医学科、保健学科、附属病院、研究所が同一敷地内にあることで、実習や研究に有利です。

### 3. 最先端かつ世界を視野に入れた機動性のある保健学科・保健学研究科

2024年より新たに「パブリックヘルス学環」を設置。時代を読み、保健学のトップランナーを目指します。

保健学研究科はWHO協力センターであり、多職種連携に強く、国際的な研究も多数発信しています。

保健学科について詳しくはWEBをご覧ください



# 教育の特徴

## POINT 01 グローバルに活躍する若手リーダーの育成

GFL(Global Frontier Leader)を毎年、保健学科から生み出しています。多角的な視点で国際理解を深め、世界を開拓する次世代のリーダーを育てます。ハワイ大学、ディーキン大学、モンゴル国立医学科学大学、ワシントン大学、フィリピン大学などへ留学や国際交流を行っています。



## POINT 02 WHO協力センターの指定を受けたチーム医療教育

全人的医療を基盤として、医学、保健学、薬学など多専攻からなるチームを学生からつくりあげ、互いの価値観を理解しながら、チームビルディングを構築し、患者中心のチーム医療を学修していきます。



### STUDENT'S VOICE 看護学専攻

#### 将来は、生まれ育った群馬県で働きたい

患者さんだけでなく患者さん家族の支えにもなれる看護師になりたい、丁寧で確かな看護を提供したいと思っています。群馬大学は、早期体験実習で1年生から附属病院の看護師の実際の様子を知ることができたり、実習先が病院以外にも多彩だったり、地域包括ケアシステムの学修環境が充実していて地域医療について専門性を高めることができた、他専攻と一緒に高度なチーム医療が学べるなど、学びの環境が非常に充実しているところに大きな魅力を感じています。



3年 藤井千咲  
群馬県立沼田女子高等学校出身

|              | 時間割            |            |             |                |              |
|--------------|----------------|------------|-------------|----------------|--------------|
|              | 月              | 火          | 水           | 木              | 金            |
| 1~2          |                | 医療生命倫理     | 国際看護学       | 成人・老年看護学方法論演習Ⅰ | 災害看護学        |
| 3~4          | 疫学             | 精神看護学方法論   |             | 成人・老年看護学方法論Ⅱ   | 助産学総論        |
| 5~6          | 成人・老年看護学方法論演習Ⅲ | 地域保健医療推進論  | 地域・在宅看護学方法論 | 地域看護学方法論Ⅲ      | チームワークトレーニング |
| 7~8          | 看護管理学          | 小児看護学方法論演習 | 母性看護学方法論演習  |                |              |
| 9~10         |                |            |             |                |              |
| After school |                |            |             |                | サークル活動       |

## POINT 03 地域包括ケアシステムを担う人材教育

誰もが住み慣れた地域で安心して生活するための医療・保健・福祉領域を包括的にカバーする人材を教育します。実習の場も医学部附属病院、在宅ケア機関、高齢者施設、行政機関と幅広く多様です。また、地域を支える学生保健学サポーター養成も行っています。



## POINT 05 さらに研究力を育む大学院進学への道

入学からアカデミックライティングを学び、専門科目でプロとしての知識・技術を修得するだけでなく、卒業研究を通じて探究心を磨きます。将来的に発見・発明を行う研究者を目指したい人には大学院進学への道が開かれています。



### STUDENT'S VOICE 検査技術科学専攻

#### 熱意ある先生方のもと、夢に向けて学ぶ日々

創業研究につながる、医学を学べる専攻を志望し、本専攻に入学しました。検査技術に関わることはもちろん、分子生物学、病理学、免疫学など幅広く学んでいます。また、本学はWHO協力センターです。SGH<sup>®</sup>だった母校での経験から、国際社会への貢献について考える機会がある環境で学びたいとも考えました。そして、学部生でも望めば研究を教わることができることも本学のメリットだと感じています。卒業後は大学院に進学し、がん創業に関わる研究をしていきたいと考えています。



3年 鈴木望翔  
秋田県立秋田南高等学校出身

## POINT 04 ベーシックからアドバンスに向かう教育

教員は臨床経験豊富なだけでなく、その領域のスペシャリスト・研究者です。基本をきちんと教育するだけでなく、その中から主体性、向上心を育て、将来、高度な医療専門職を目指す力を育てます。



## POINT 06 「あなた」を支えるチューター制度

担当の教員が1年生から4年生まで学修や就職、進学、悩みなどをサポートします。



# カリキュラム

保健学科は保健医療の専門職として、高い知識と技術、  
確固たる倫理観と豊かな人間性を持ち、社会的使命を果たすことのできる人材を育成します。

## 看護学専攻

医療・保健の現場で看護の専門性を発揮できる能力と  
地域完結型看護の実践力を育成

- 看護師コース
- 保健師コース (定員40名)
- 助産師コース (定員8名)

### 看護学教育の特徴

基礎から応用まで段階的に看護の専門的知識や技術を学びます。人間のライフサイクル各期(母性、小児、成人、老年)における看護、そして地域・在宅・精神看護、国際的な医療にも対応できるような教育を行います。

#### 主な科目と4年間の流れ

- 1年次** 早期体験実習  
生活を理解する実習
- 2年次** 基礎看護学実習  
生活を理解・支援する実習
- 3年次** 成人・老年・母性・小児・在宅・精神実習
- 4年次** 地域看護学実習・助産実習・総合実習

#### 知識や技術が効率よく修得できるカリキュラム構成

看護職を目指す講義、演習、実習等を行います。

#### 看護早期体験実習

附属院内の外来・病棟での健康障害を持つ人との関わりから、看護の役割について学びます。看護の現場を早期に知ることで、これからの看護学の学修への動機付けを促します。



#### 看護学総合実習

県内をはじめ国内外の病院・関連施設で実習を行います。卒業に向けて、現場の看護職としての、チーム間の連携を含めた総合的な看護実践能力の向上と地域を問わず質の高い看護・医療の提供に向けた指導を行います。



## 検査技術科学専攻

国際的な活躍ができる  
臨床検査技師育成を目指す

臨床検査技師となるために必要な知識の地盤を固め、  
大学病院で最先端の検査を学ぶことができます。

### 検査技術科学教育の特徴

日進月歩で発展する検査技術科学分野の専門知識や技術を学び、検体検査および生理機能検査をマスターして、高度専門化した医療に対応できるような教育を行います。また、細胞検査士養成コース(定員5名程度)も設置しています。

#### 主な科目と4年間の流れ

- 1年次** 臨床検査総論実習 (尿検査等)
- 2年次** 専門科目実習 (病理、血液、微生物検査等)
- 3年次** 専門科目実習 (生化学、超音波、輸血検査等)、附属病院での臨床実習
- 4年次** 卒業研究

#### 全人的医療×チーム医療

確固とした倫理観と豊かな人間性を持ち、高度な技術と知識を備えた臨床検査技師育成を目指します。そこで、遺伝子検査や画像解析などの最新検査技術の教育に力を入れています。さらにチームワーク実習を通じて、チーム医療の重要性を指導しています。



#### 卒業研究(1年間)

各教員の指導のもと研究を行い、論文作成・発表を行います。これにより十分な研究手法および研究的思考法を修得し、将来研究職・教育職に就く人材育成が可能です。

#### PICKUP

#### 国際社会で活躍できる人材育成

英語論文の輪読などとおして、英語による口頭・紙上発表の基本を学びます。また、ワシントン大学医学部臨床検査学科との交換留学も実施しています。

### ◆教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー) ~このような教育を行います~

知性と行動力を備えた人間性豊かな保健医療人材の育成を目指し、次のような教育を行います。

- 保健医療専門職としての倫理観を涵養し、専攻分野に必要な基礎力を育成する教育
- 保健医療専門職として主体的に行動し、総合的な判断ができる人材を育成する教育
- チーム医療を推進する一員としての意識と円滑な協働関係を築く力を育成する教育
- 多様な地域社会の中で、グローバルな視点から保健医療の諸課題に対応できる人材を育成する教育

## 理学療法学専攻

新しい機能回復の理論、技術の  
研究・開発能力を育てる

### 理学療法学教育の特徴

専門職としての態度や実践的な技能の修得が円滑に図れるよう、科目の枠を超えた教育を心掛け、机上での学修だけでなく、臨床での体験や実習などとおした能動的な学修への支援を重視しています。



#### 主な科目と4年間の流れ

- 1年次** 理学療法概論  
グループ(1日)※教員引率
- 2年次** 早期体験実習  
グループ(6日)※教員引率
- 3年次** 基本的臨床技能実習Ⅰ(OSCE)試験  
基本的臨床技能実習Ⅱ  
グループ(3日)※教員引率  
臨床実習Ⅰ 学生2名ずつ(2週間)  
臨床実習Ⅱ 学生1名ずつ(3週間)
- 4年次** 応用的臨床技能実習(Advanced OSCE)試験  
総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ  
学生1名ずつ(8週間)

#### PICKUP

#### 参加型授業

理学療法学専攻ではグループワーク、実技練習がたくさんあります。

#### グループワーク

#### PBL入門

基礎医学的な知識の統合

#### グループワーク・実技

#### 症例基盤型実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

それぞれの対象についての理学療法評価と治療の臨床思考過程と基本的技術を修得

## 作業療法学専攻

生活障害を持つ人々の健康と幸福を促進する  
支援技術を学ぶ

### 作業療法学教育の特徴

作業療法には、「身体障害」「精神障害」「発達障害」「高齢期の障害」の4つの領域があります。体験をとおした参加型の実習によって、いずれの領域でも活躍できる知識・技能を学びます。米国、モンゴル、フィリピン、台湾、韓国などの多くの海外の大学との交流や一部の卒業研究での英語での発表など、国際的な視野に立った教育も行われています。

#### 主な科目と4年間の流れ

- 1年次** チームワーク原論
- 2年次** 基礎・臨床医学見学実習(1週間)
- 3年次** 評価実習(3週間)  
地域実習(1週間)
- 4年次** 臨床技術実習(OSCE)試験  
総合臨床実習(8週間×2)  
国家試験対策

#### 基礎的な知識や医療人としての態度を修得した後、確かな臨床技術と高度な研究力を養う

#### 指導法

国立大学ならではの少人数制を生かしたきめ細かな指導を行っています。

#### 作業療法評価学Ⅱ(障害領域別)

学習した発達検査を臨床場面で実際に使用するための演習を行います。地域の子どもとその保護者を招いて、実際の状況を体験しながら学びを深めます。



卒業研究10ヶ月

## STUDENT'S VOICE

### 理学療法学専攻

#### 患者さんに信頼してもらえる理学療法士に

学生一人一人に担当教員がついて大学生活のさまざまな相談に応じてくれるチューター制度を心強く感じています。理学療法学専攻は1学年20名と少人数であるため、学生間、また先生方との距離が近く、講義内で疑問に思ったことを講義終了後に気軽に質問することができます。大学敷地内に附属病院があるため、講義の中で病院に赴くことも多々あり、実際の患者さんの生活を見学したり、インタビューしたりすることを通じて、将来現場に出たときに役立つ多くの知見を得られます。



3年 飯島 瑠香  
群馬県立太田東高等学校 出身

#### 時間割

|              | 月     | 火 | 水          | 木          | 金            |
|--------------|-------|---|------------|------------|--------------|
| 1~2          |       |   | 臨床理学療法学Ⅱ   | 整形外科学Ⅱ     |              |
| 3~4          | 臨床運動学 |   |            | 神経内科学Ⅱ     |              |
| 5~6          |       |   | 臨床理学療法学Ⅰ   | 臨床理学療法学Ⅱ   | チームワークトレーニング |
| 7~8          |       |   | 臨床理学療法学実習Ⅰ | 臨床理学療法学実習Ⅱ |              |
| 9~10         |       |   |            |            |              |
| After school |       |   |            |            |              |

## STUDENT'S VOICE

### 作業療法学専攻

#### 心まで寄り添える作業療法士になりたい

作業療法学専攻は1学年20人の少人数体制で、先生との関係も築きやすく、アットホームな雰囲気です。先生方の熱心なご指導と分かりやすい説明のもと、関心を持ちながら授業に取り組み、たくさんの新たな気づきや発見があります。チーム医療のあり方を体験できる「チームワークトレーニング」では、他専攻の学生と関わることで、各々の専門性を知るだけでなく、チーム医療に必要なコミュニケーション能力も学ぶことができます。さまざまな専門の先生から講義を受けることで、専門的な知識を身に付けることができ視野がぐっと広がります。



3年 宇津木 瞳  
群馬県立高崎女子高等学校 出身

#### 時間割

|              | 月                    | 火 | 水               | 木               | 金                 |
|--------------|----------------------|---|-----------------|-----------------|-------------------|
| 1~2          | 作業療法治療学演習Ⅳ(ADL・生活行為) |   |                 | 整形外科学Ⅱ          |                   |
| 3~4          |                      |   | 精神医学Ⅲ           | 神経内科学Ⅱ          | 作業療法治療学Ⅲ(老年・高次脳系) |
| 5~6          |                      |   | 作業療法治療学Ⅰ(身体障害系) | 作業療法治療学Ⅳ(発達障害系) | チームワークトレーニング      |
| 7~8          | 作業療法治療学Ⅱ(精神障害系)      |   |                 |                 |                   |
| 9~10         |                      |   |                 |                 |                   |
| After school | 課外活動                 |   |                 |                 | サークル活動            |

## 保健学科教員紹介

## 子どもの内面で起きている成長を大切に



看護学専攻 金泉 志保美 教授

担当は小児看護学です。医療現場においては子どもの知る権利を尊重し、子どもが自ら向き合う力を伸ばし支える看護が重要です。時に多くのジレンマにぶつかりつつも、子どもを一人の人として尊重した看護を考えていくところに、小児看護の魅力があります。学生たちには何よりも、「看護って面白い!」と感じながら学んでもらいたいと考えています。

看護職は、その対象者に安心を与える存在です。「あなたは大丈夫」というメッセージを送ることができる専門職になってください。また、日々の実践の中で常に「これでよいのか?」と疑問を抱ける感性を育ててほしいと思います。看護師の活動の場はとても広いです。学生時代から、ボランティア活動への参加等を通して視野を広げていけるとよいと思います。

## 自分自身の健康も守れる人になってください



看護学専攻 八木原 ひなた 助教

主に精神看護学の授業や実習を担当しています。精神看護学で学ぶ内容は、精神科に入院する患者さんの看護だけでなく、他の科に入院している患者さんにも、地域で生活している人にも、友達にも、家族にも、そして自分自身にも人生を通して役立つ内容です。病院の中で働いているときだけでなく、看護師を仕事とする一人の人間として、自分の周りの大切な人を救うことができる知識・技術を身に付けられるところが、この分野を学ぶ意義・面白さだと思います。

学生の皆さんには、看護師になったあとの人生でも、多くの選択肢の中から「自分にとって幸せな道」を選んでほしいと願っています。そのためにも大学ではさまざまな経験をし、思索の糧や広い視野を育み、豊かな成長に結び付けてください。

## 「信頼してもらえる医療」を提供するために



理学療法学専攻 田鹿 毅 教授

リハビリテーションは、整形外科の保存療法における症状緩和や運動器機能の維持、また術後における運動器機能の向上を目的として、必要不可欠です。授業では、知識とともに、患者さんのメンタルサポートの大切さや患者さん対応の工夫など、整形外科患者さんとリハビリテーションの関わりを分かりやすく講義するよう心掛けています。医療は、医療従事者と患者さんの信頼関係なくしては成り立ちません。お互いが「病気治療」という目的に向かって一緒に考え、悩み、協力して治療を行えるような医療人としての心構えを感じてもらえれば嬉しいです。

在学中は、自主的な姿勢で学業に臨むと同時に、自分の好きなことに思い切り打ち込んだり、興味のある物事にチャレンジしたりしてください。きっと将来に役立つことと思います。

## 理学療法には大きな可能性があります



理学療法学専攻 加藤 大悟 助教

呼吸や代謝等の機能が低下している状態である「内部障害」に関連した理学療法が私の専門です。内部障害により日常生活を安楽に送ることが難しい方に対し、機能の改善や維持を図りつつ、動作の工夫や福祉用具の使用、生活環境の調整などのアドバイスをすることで、その人らしく暮らすことを支援します。

私は「優しい理学療法士」を育てたいと思っています。理学療法における「優しさ」とは、優しい声かけをするだけでなく、正しい知識・技術のために研鑽を続け、獲得した専門性を活かして効果的な治療を提供すること、また、患者さんの希望と理学療法士の視点を統合し「その人らしい」生活を送るための目標を提案・共有できることだと考えます。学生が高度な専門性と自立性を育めるような授業展開を心掛けています。

## 病理の臨床検査技師のトップランナー育成



検査技術科学専攻 齊尾 征直 教授

主に病理学・病理検査学、細胞検査士養成コースを担当しています。病理分野は、全身の臓器から採取された組織を顕微鏡で診断できるように標本作製します。また、細胞検査士として細胞を自ら検鏡して細胞の同定を行います。このため極めて高い知識や専門性が必要で、大変やりがいのある仕事です。

大学院教育では、「なぜ癌細胞の核は形が正常と異なるのか?」を細胞生物学的に探究し、「病理標本の新規の染色法開発」「病理標本の薄切原理の探求」を通じて病理検査の革新的技術開発を目指しています。学生は個別かつ丁寧な指導で英文を読みこなし、英語論文が執筆できるようになります。学部・大学院の間に皆さんを磨き上げ、輝かせ就職を成就させ、病理の臨床検査技師のトップランナーを育成することを目指しています。

## 失敗や寄り道も、成長につながる“学び”です



検査技術科学専攻 土岐 明子 助教

生理学や組織学などの実習と、多職種連携を学ぶチームワーク実習を担当しています。生理学等の、医学の基礎となる知識や物事の見方は、時代の変化にかかわらず重要なものです。またチームワーク実習では、他専攻の学生とのグループ学習により、臨床の場で必要になることを体験できます。学生たちから次々とアイデアが出て、とても濃厚で楽しい時間です。

検査技術科学専攻で学ぶ学生の皆さんには、臨床から研究まで幅広い将来の選択肢があります。どんな立場になっても、自分の得意分野を生かしてリーダーシップを発揮できる社会人になってほしいと思います。在学中になんでも挑戦してみてください。もし回り道になっても、そこからの学びは必ず将来の糧になります。

## ぜひ、良き師、良き友に出会ってください



作業療法学専攻 藤田 行雄 教授

「生理学」と「神経内科学」の講義を担当しています。生理学では解剖学と並行して医療人に必須の基礎を学び、神経内科学では、今後患者さんの増加が危惧される認知症やパーキンソン病・筋萎縮性側索硬化症といった未だ根治療法がない疾患について学びます。

神経内科学は患者さんのADL(日常生活動作:activities of daily living)向上のためのリハビリテーションの研究や根治療法のための基礎研究など探索すべきことも多く、やりがいのある分野です。

この学問を発展させる疾患の理解、新規治療につながるヒントは日々接する患者さんの中に隠れています。このために皆さんには、豊かなコミュニケーション能力を持ち、感覚を研ぎ澄ませて患者さんと接することのできる医療人に育ってほしいと考えます。

## 本学には国際的な教育環境が整っています



作業療法学専攻 川島 智幸 准教授

私の専門は応用言語学で、授業では基礎的な医療英語を教えています。大学で国際活動に従事してきた経験から、本学保健学科で学ぶことには多くのメリットがあると感じています。本学は国立の総合大学であり、学費が比較的安く、専門以外にも広く学べます。海外の協定校との交流が盛んに行われ、留学生と接したり、短期の海外派遣に参加したり、長期留学したりすることができます。グローバルフロンティアリーダープログラムに参加し、語学とリーダーシップを学ぶのもいいでしょう。また本学には世界保健機関(WHO)指定の協力センターがあり、センター主催のプログラムにオブザーバー参加することもできます。

本学の持つこれらのリソースを大いに活用し、皆さんには、国内外で活躍できる医療人を目指してほしいと思っています。

TEACHERS

## 卒業生メッセージ

# OB・OG MESSAGE

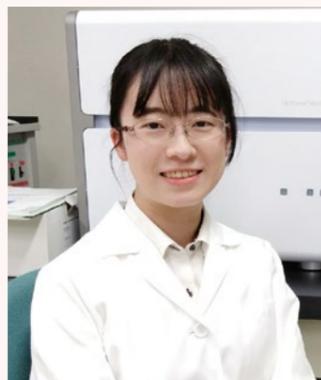


患者さんの個性を  
尊重できる看護師に

**飯野 愛稀 さん** 群馬大学医学部附属病院  
看護部  
看護師  
2024年卒業  
(看護学専攻)

今年の春に就職し、今は患者さんの状態観察、点滴・経管栄養の調製、カルテへの記録、検査や入院の準備などを行っています。毎日、あっという間に時間が過ぎていきます。まだ新人で、できないことや分からないことも多いですが、自信を持ってできるケアが少しずつ増えていくことが嬉しいです。まずは看護師として一人前になれるよう、より専門的な知識や技術を身に付けていき、将来的には、日々の業務の中で患者さん一人ひとりにしっかりと向き合い、「その人らしさ」を大切にできる看護師に成長していきたいです。

大学では、講義や実習を通して、看護の知識や技術に加え、患者さんの個性を大切にすることという学びました。それを忘れず、「この患者さんにはどんなケアが必要なのか」を考えながら仕事をしています。また、大学時代のチームワーク実習やサークル活動を通じて、他職種への理解が深まりました。他専攻の学生がどんなことを学んでいるか聞いたり、チームワーク実習等でディスカッションしたりしたことで、その職種の役割や、職種によって患者さんの捉え方が異なる場合があることを学びました。今後多職種と関わっていく中で、チーム医療に役立っていきと思っています。



県職員ならではの経験を  
成長につなげていきたい

**永井 裕美 さん** 群馬県健康福祉部  
食品安全検査センター  
食品微生物検査係 臨床検査技師  
2017年卒業  
(検査技術科学専攻)

学部の4年間に加え、大学院の2年間でさまざまな経験をしたことで、幅広く公衆衛生に関わる仕事をしたいと考えようになり、現職を選びました。大学の臨地実習で、臨床検査技師の先輩方が活躍するいろいろな職場を見学する機会があり、先輩方から直接お話を聞いたことは、就職先の選択肢を増やすことにつながりました。

現在は食品中の微生物やアレルゲンの検査を担当しています。食品の検査は、今の所属に異動するまで経験のなかった業務で、日々勉強しながら取り組んでいます。業務の中で食物アレルギーに興味を持ち、食物アレルギーに関する調査研究も行っています。大学でも微生物検査の講義や実習はありましたが、食品の微生物検査は使用する培地などが臨床検査で使うものと異なり、異動した当初は一から勉強しながら業務を行っていました。

現在の所属の前は保健所に勤務し、感染症対策の業務を担当していました。新型コロナ初期の混乱していた時期を感染症担当として経験し、苦労は多くありましたが、貴重な経験となりました。行政に携わる検査技師だからこそ、さまざまなことに興味を持ち、幅広い視野を持ってあらゆる業務に取り組んでいきたいです。



理学療法の進歩に  
貢献するような研究を

**中俣 日向 さん** 医療法人五輪会  
東前橋整形外科病院  
診療技術部 リハビリテーション科  
理学療法士  
2023年卒業  
(理学療法学専攻)

長くクロスカントリースキーをしてきて、怪我や練習方法などについて考え、模索した経験からアスレチックリハビリテーションに興味を持ち、理学療法士を志しました。将来はスポーツ選手の怪我の回復や予防、さらにはパフォーマンス向上に携わりたいと考えています。現在、仕事の傍ら、群馬大学大学院 保健学研究科 応用リハビリテーション専攻に所属し、クロスカントリースキー選手の腰痛に関わる特徴について研究しています。また、群馬県スポーツリハビリテーション研究会の活動で、中高生のスポーツ大会のメディカルサポートを行っています。

臨床の現場では日々分からないことが出てきますが、それについて勉強し、考え抜いた介入で患者さんの状態が良くなり、患者さんが喜んでくれる姿を見ることがやりがいになっています。大学の授業では、自分たちで調べ、考え、試行錯誤して、問題点や介入方法を考える機会が多くあります。その体験を仕事にも生かして、患者さん個々の問題点の把握や、それぞれの生活や状態に応用しようと努めています。研究活動を通して新たな知見を探り、自分が直接関わらない患者さんへも質の高い理学療法を届けられるようになりたいです。



迷ったときは、大学で  
学んだ基礎に戻ります

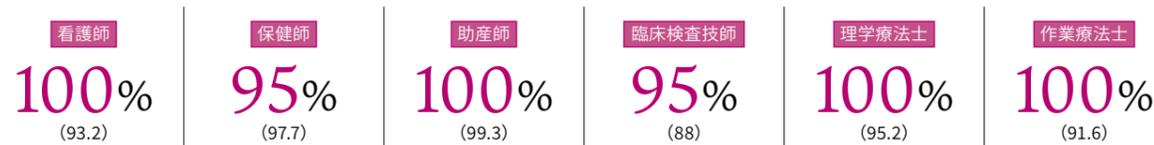
**吉澤 陽菜 さん** 医療法人大誠会  
内田病院  
外来リハビリ(小児担当)  
作業療法士  
2022年卒業  
(作業療法学専攻)

主に外来で、発達特性や発達遅れのあるお子さんを対象とした小児リハビリを担当しています。遊びの要素を取り入れながら、お子さんに合わせたプログラムを実施し、発達を促すお手伝いをしています。また、同じ医療法人内の児童発達支援事業所や放課後等デイサービスに訪問し、情報共有やリハビリ支援もしています。

日々、お子さんや保護者様から学ばせていただいています。工夫しながら一緒に練習する中で、お子さんの「できた!」を引き出せたとき、嬉しさを感じます。働き始めて患者様と関わらせていただく中で、「学生時代に学んだことは、実際のこの場面につながるのか」と感じる事が多くあります。現在、仕事と並行して大学院の修士課程で学んでおり、研究を通して、信頼につながるエビデンスを見つける力を身に付けたいと考えています。

目標としているのは、発達障がいのあるお子さんやそのご家族が生活しやすくなるような支援をし続けられる作業療法士になること。経験豊富な先輩方からアドバイスをいただきつつ、身近に障がいのある家族がいるからこそ気がつける視点も活かして、子どもたちに最善の関わりができるよう、学び続けていきたいです。

### ● 国家試験の2024年 合格状況 (新卒者)



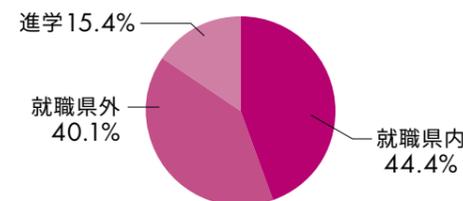
過去2年間

単位:%

|      | 看護師         | 保健師         | 助産師         | 臨床検査技師      | 理学療法士      | 作業療法士      |
|------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 2023 | 97.4(95.5)  | 100.0(96.8) | 100.0(95.9) | 100.0(89.5) | 91.3(94.9) | 94.7(91.3) |
| 2022 | 100.0(93.0) | 100.0(99.7) | 100.0(96.5) | 84.2(86.4)  | 95.0(88.1) | 93.8(88.7) |

※( )内 全国平均

### ● 卒業後の進路



#### 主な就職先

群馬大学医学部附属病院、自治医科大学附属病院、東京大学医学部附属病院、前橋赤十字病院、長野赤十字病院、前橋共立病院、角田病院、老年病研究所附属病院、群馬県庁、栃木県庁、所沢市役所 他



### ◆ 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー) ~このような人材を育てます~

所定の年限を学し、かつ所定の単位を修得し、各専攻のディプロマ・ポリシーが規定する学識と能力を持つ次のような者に学士の称号を授与します。

1. 保健医療の中核を担うために必要な専門的知識と技術を備え、人間の尊厳を重んじる心を持つ者
2. 保健医療の諸課題に対し柔軟な思考、的確な判断によって問題解決ができる者
3. チーム医療を担う自覚を有し、関係する人々との相互理解と円滑な協働関係が築ける者
4. 社会の多様性・グローバル化に対応できる自己開発力と意欲を持ち、人々の健康に貢献する者

SHOWA

# CAMPUS MAP

キャンパスマップ

医学部は昭和キャンパスで学びます。  
医学・保健学・医療を学ぶ場所であると同時に、  
かけがえのない青春の時間を紡ぐステージとなります。

キャンパスエリアは  
落ち着いた  
学習環境です



- |               |            |                |                   |
|---------------|------------|----------------|-------------------|
| 1 医学部 基礎講義棟   | 6 保健学科 中央棟 | 11 群馬大学生協(昭和店) | 16 重粒子線医学センター     |
| 2 医学部 基礎医学実習棟 | 7 保健学科 南棟  | 12 石井ホール       | 17 群馬大学医学部附属病院    |
| 3 医学部 基礎医学棟   | 8 保健学科 新棟  | 13 刀城会館        | 18 アメニティーモール・コンビニ |
| 4 医学部 臨床講堂    | 9 共用施設棟    | 14 生体調節研究所     | 19 ゆめのご保育園        |
| 5 保健学科 西棟     | 10 医学図書館   | 15 課外活動施設、体育館  |                   |

アメニティーモール・南病棟1階



イタリア食堂Cinema(チネマ)

カフェランタン

ローソン

尾瀬・BECK'S COFFEE SHOP  
群大病院店

# CLUB & CIRCLE

クラブ & サークル

キャンパスライフをより豊かに！  
大切な仲間と一緒に目標に向かってチャレンジし、  
充実した時間を過ごしましょう。



サークルをとおして  
一生の友といえる  
友達ができました！

## 運動部

- 弓道部
- 硬式テニス部
- サッカー部
- スキー部
- ダブルダッチサークル Rally
- 馬術部
- バドミントン部
- ラグビー部
- 剣道部
- ゴルフ部
- 準硬式野球部
- 卓球部
- 軟式テニス部
- バスケットボール部
- バレエ部
- 陸上部

## 文化部

- 囲碁・将棋部
- 気象天文研究部 igakubu
- 軽音楽部
- 茶道部
- 書道部
- 東洋医学研究会
- モダンジャズ研究会
- 医療系自主ゼミサークル e∞gg(えっぐ)
- ビッグバンドサークル Fore-Bridge Orchestra
- 競技麻雀部
- 混声合唱団
- 写真部
- ダンスサークル
- 漫画研究部
- Flow Orchestra

## ボランティアサークル

- 泉の会(知的障害の子どもと遊ぶ会)
- 国際ボランティア学生協会 IVUSA
- たんぽぽ(自閉症児ふれあい支援)
- 小児糖尿病サマーキャンプボランティアサークル LEADS
- 小児喘息・アレルギーキャンプのボランティアサークル AAA☆kids

\*このほかにもたくさんのクラブ・サークルがあります。

群馬大学生協  
(昭和店)



# CAMPUS LIFE

キャンパスライフ



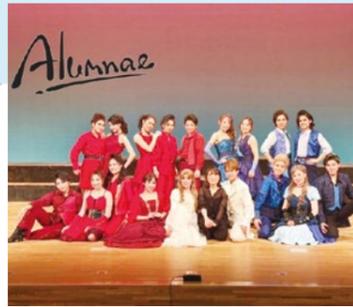
学内試験後は温泉に行って勉強の疲れを癒します

将来は、医療を通して地域社会の支えになりたい

医学科  
4年 鈴木 竣也さん  
群馬県立前橋高等学校 出身

4年生になり、現在は呼吸器や整形外科などさまざまな臨床医学を学んでいます。放課後には部活や塾講師のアルバイトに取り組んでいます。部活の仲間とは、医学祭への出店や合宿、東医体などのイベントを通して仲を深めています。休日には一緒に食事や旅行に行くこともあります。受験生の皆さん、受験勉強は過酷だと思いますが、「根拠のある努力」はきっと報われます。群大で楽しい時間を過ごすことを思い浮かべながら、夢に向かって頑張ってください。

※東医体：東日本医科学生総合体育大会の略称。



市内下小出町にある輸入雑貨を扱うお店『マライカ BAZAAR』がお気に入りです！

余暇はミュージカル劇団の仲間と練習に励んでいます

保健学科  
看護学専攻  
4年 川島 花果さん  
群馬県立太田女子高等学校 出身

将来の夢は、「国境なき医師団」に参加し、健康の危機にある人々の不安や痛みを少しでも軽減し、笑顔になれるよう尽力することです。そのため今、看護を真剣に学んでいます。週末は学外のミュージカル劇団で練習に没頭しています。座長として、団員の意見を尊重しながら、公演成功に向けて稽古を重ねています。受験生の皆さん、頑張っている自分を信じて目の前のこと一つ一つに集中するとゴールが近づいてくると思います！一緒に頑張りましょう！

学びに、青春に、全力で向かい合って、自分らしく日々を過ごし、未来を描く学生の姿をご紹介します。



赤城山の四季折々の景色は毎日見ても飽きません

勉強や興味あることに打ち込める環境が群大の魅力

医学科  
4年 山下 宥佳さん  
千葉県 渋谷教育学園幕張高等学校 出身

学生会副執行委員長として活動したり、公衆衛生学の研究室に通ったり、GFLに参加したりと密度の濃い大学生活を送っています。将来は、それぞれの患者さんのニーズに応える医療を提供できる医師になりたいです。そのために必要なコミュニケーション能力などの力を幅広く伸ばせるカリキュラムが、群馬大学医学部には用意されています。また、興味を持った何にでも挑戦すると、視野や世界が広がります。先生方も挑戦に対して快くサポートしてくれます。

※GFL：グローバルフロンティアリーダー育成プログラム。詳細はp8参照。



空きコマに、車でランチやお花見に出かけたりもします

自分の興味あることを学ぶ大学の学修は面白い！

保健学科  
理学療法専攻  
3年 河野 菜々美さん  
群馬県立前橋女子高等学校 出身

鉄道を利用して首都圏に手軽にアクセスできるのが前橋のいいところ。好きなアーティストのライブに行ったり、友達と遊びにいったり、趣味の美術館巡りをしたりするのに便利です。ライブや旅行に行くため、余暇はアルバイトに励んでいます。群馬大学医学部はチューター制度がありますが、チューターの先生以外の先生方も親しみやすいばかりで、日頃の不安や進路についての悩みなど何でも相談しやすく、安心して学生生活を送ることができます。

県庁舎は眺めがよくて食事できるのでオススメです！

将来は健康維持に貢献できる研究者になりたいと考え、研究活動に必要な知識や技術を、先輩や先生方から日々学んでいます。一人暮らしなので、勉強に疲れたときは料理や掃除などの家事で気分転換を図っています。集中して勉強したいときは図書館へ。専門書以外にも多くの蔵書があるので頻りに利用しています。休日はEnglish Caféに参加し、昼食をとりつつ先生や留学生と話すことも。学年・学部を超えた知り合いも増え、交流が広がっています。



休日には趣味のピアノを弾いたり、散歩を楽しんだりします



保健学科  
検査技術科学専攻  
4年 雨宮 咲久良さん  
東京都光塩女子学院高等科 出身

群馬大学は元気な学生が多くて楽しい大学です！

週4~5日アルバイトして忙しいのですが、患者さんに寄り添って身体面や精神面の悩みをサポートできる作業療法士を目指して、学業との両立を工夫して頑張っています。医学部陸上部ではマネージャーをしています。先輩後輩関係なく仲が良く、とても楽しいです。受験勉強は大変ですが、友達と助け合うことでヒントを共有できたりいい刺激になったりします。群馬大学に入学できて本当に良かったと思っているので、皆さんも合格目指して頑張ってください！



今年の夏休みは実習に帰省、アルバイトと忙しくなりそうです！



保健学科  
作業療法専攻  
3年 中嶋 珠久さん  
長野県伊那弥生ヶ丘高等学校 出身

群馬大学医学部に進学を希望する皆さんの気になる疑問・質問にお答えします！

**Q** 1年次は荒牧キャンパスに通うのですか？

**A** 医学部の1年次の講義は週3日を荒牧キャンパスで、残り2日を昭和キャンパスで受講します。2年次以降は全講義を昭和キャンパスで受講します。両キャンパスの距離は約3.5km(徒歩約45分・自転車約20分)です。下宿生は昭和キャンパス付近(荒牧キャンパス寄り)に住むことが多いです。



**Q** 一人暮らしを始めます。下宿先や住まいに関する情報を提供してもらえますか？

**A** 大学の窓口で斡旋はしていませんが、生協でお部屋探しに関する情報を提供しています。

群馬大学生生活共同組合ホームページ  
<https://www.univcoop.jp/gundai/index.html>



お部屋探し情報がここに掲載されています



**Q** 奨学金はどのような種類がありますか？

**A** 群馬大学では、日本学生支援機構の奨学金をはじめ、地方公共団体や民間奨学団体などの各種奨学金を取り扱っています。奨学金制度には、返還が必要な貸与型(無利子・有利子)と返還が不要な給付型があります。いずれの奨学金制度も学業・人物がともに優秀であって、経済的に授業料等の支出が困難な学生が対象となります。

奨学金は学びたい気持ちを応援してくれます



**Q** 何かで困ったときに相談できる窓口はありますか？

**A** 医学部医学科・保健学科とも、チューター制度を設けています(詳細:医学科 p7、保健学科 p15)。また、助言を行うための全学的な機関として、荒牧地区(昭和地区含む)に学生相談室があります。外国人留学生には、国際センターでも相談に応じています。体調面の不安については、学生を身体的・精神的にサポートする学内の医療機関「健康支援総合センター」において、医師と看護師が、体と心の健康相談、保健指導、応急処置、医療機関への紹介、健康教育、カウンセリングなど、卒業するまでの健康管理をサポートしています。

**Q** サークルやアルバイトと学業の両立はできますか？

**A** 所属するサークルやアルバイトの職種等により左右されると思われませんが、きちんとした自己管理と計画性を持っていれば、学業と両立させることは大抵の場合可能だと思われます。現在、多くの先輩がサークルやアルバイトと学業を両立させて医学部で学んでいます。



**Q** 過去問題は公表していますか？

**A** 特別選抜、一般選抜の問題、解答例、評価ポイント等については、群馬大学ホームページに掲載しています。



群馬大学ホームページ 過去の入試問題  
[https://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001\\_002](https://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_002)

合格めざしてがんばろう！



## 2025年度入学者選抜について

群馬大学医学部 入学者選抜日程の概要

※出願の際には必ず2025年度学生募集要項で最新の情報を確認してください。

|         | 学 科     | 出願期間                      | 選抜期日             | 合格者発表             | 入学手続締切日           |
|---------|---------|---------------------------|------------------|-------------------|-------------------|
| 学校推薦型選抜 | 医 学 科   | 2024年<br>11月1日(金)~7日(木)   | 11月23日(土)・24日(日) | 2025年<br>2月12日(水) | 2025年<br>2月19日(水) |
|         | 保 健 学 科 |                           | 11月22日(金)・23日(土) |                   |                   |
| 一般選抜    | 医 学 科   | 2025年<br>1月27日(月)~2月5日(水) | 2月25日(火)・26日(水)  | 3月8日(土)           | 3月15日(土)          |
|         | 保 健 学 科 |                           | 2月25日(火)         |                   |                   |
|         | 保 健 学 科 |                           | 3月12日(水)         |                   |                   |

※この表は日程の概要です。この他に帰国生選抜、私費外国人留学生選抜、社会人選抜(保健学科のみ)、医学科第2年次編入学、保健学科第3年次編入学があります。詳しくは学生募集要項で必ずご確認ください。

2025年度入学者選抜における大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

| 医 学 科                  | 教 科     | 科 目       | 受験を要する教科・科目数   |        |     |
|------------------------|---------|-----------|----------------|--------|-----|
| 学校推薦型選抜・一般選抜<br>(前期日程) | 国 語     | 国語        | 必 須            | 6教科8科目 |     |
|                        | 地 理 歴 史 | 地理総合、地理探究 | 歴史総合、日本史探究     |        | から1 |
|                        |         |           | 歴史総合、世界史探究     |        |     |
|                        |         |           | 公共、倫理          |        |     |
|                        | 公 民     | 公共、政治・経済  | 公共、政治・経済       |        | から2 |
|                        |         |           | 物理             |        |     |
|                        | 数 学     | ① 数学I、数学A | 数学II、数学B、数学C   |        | 必 須 |
|                        |         |           | ② 数学II、数学B、数学C |        | 必 須 |
|                        | 理 科     | 化学        | 生物             |        | から1 |
|                        |         |           | 英語             |        |     |
| ドイツ語                   |         |           |                |        |     |
| 外 国 語                  | フランス語   | フランス語     | 必 須            |        |     |
|                        |         | 情報I       |                |        |     |

| 保 健 学 科             | 教 科     | 科 目       | 受験を要する教科・科目数   |        |     |
|---------------------|---------|-----------|----------------|--------|-----|
| 一般選抜<br>(前期日程・後期日程) | 国 語     | 国語        | 必 須            | 6教科8科目 |     |
|                     | 地 理 歴 史 | 地理総合、地理探究 | 歴史総合、日本史探究     |        | から1 |
|                     |         |           | 歴史総合、世界史探究     |        |     |
|                     |         |           | 地理総合/歴史総合/公共   |        |     |
|                     | 公 民     | 公共、倫理     | 公共、政治・経済       |        | から2 |
|                     |         |           | 地理総合/歴史総合/公共   |        |     |
|                     | 数 学     | ① 数学I、数学A | 数学II、数学B、数学C   |        | 必 須 |
|                     |         |           | ② 数学II、数学B、数学C |        | 必 須 |
|                     | 理 科     | 化学        | 生物             |        | から1 |
|                     |         |           | 英語             |        |     |
| ドイツ語                |         |           |                |        |     |
| 外 国 語               | フランス語   | 中国語       | 必 須            |        |     |
|                     |         | 韓国語       |                |        |     |
| 情 報                 | 情報I     |           |                |        |     |

※出願時には、大学入学共通テストの利用教科・科目についての注意事項を、募集要項及び、下記ホームページで確認してください。  
※上記の表は新教育課程に対応した出題教科・科目を記載しています。旧教育課程に対応した出題教科・科目は、募集要項を確認してください。

2025年度入試の主な変更点をホームページに記載しています。  
保健学科については2026年度入試の変更点も記載していますので、ご確認ください。  
<https://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/g2105>



# 入学について



**医学科**  
<https://www.med.gunma-u.ac.jp/>  
 TEL.027-220-8910



**保健学科**  
<https://www.health.gunma-u.ac.jp/>  
 TEL.027-220-8909

## 医学科 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ~このような人を求めています~

■人材育成の目標  
 医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の3つの面 (SES) にわたって生涯自己研鑽を続けることができる人

- 入学者に求める能力・資質
- ① 豊かな感受性、奉仕の精神を備え、医師としてふさわしい資質を身に付けることを目指して、不断の努力を積み重ねられる人
  - ② 医療、医学研究、医学教育もしくは医療行政などの分野において、社会に貢献することへの志と強い信念を持っている人
  - ③ 本学科の教育内容を理解するために必要な総合的基礎学力を十分に備えている人

■入学前に学習することが期待される内容  
 特に日常的な学習が十分に行われていることが望ましいのは、国語と英語である。専門科目を学ぶために必要となるのは、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・Bであり、理科では、受験科目にかかわらず、物理(物理基礎を含む)、化学(化学基礎を含む)、生物(生物基礎を含む)である。

■入学者選抜の基本方針  
 本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

- 一般選抜 前期日程** ③に対しては大学入学共通テストと学力検査(数学、理科)を、①、②、③に対しては小論文と面接を課します。
- 学校推薦型選抜** ③に対しては大学入学共通テストを課し、①、②、③に対しては小論文と面接を課します。また、出願書類(調査書、推薦書、適正資質調査書、志望理由書)を加え、総合して判定します。
- 私費外国人留学生選抜** 日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身に付けているかどうかを判断するために日本留学試験を課しています。また、③に対しては学力検査(数学、理科)を、①、②、③に対しては小論文と面接を課します。さらに、成績証明書を加え、総合して判定します。
- 帰国生選抜** ③に対しては学力検査(数学、理科)を、①、②、③に対しては小論文と面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。
- 2年次編入学** ①、②、③に対しては小論文と面接を課します。また、出願書類等を加え、総合して判定します。

■入学者選抜方法における重点評価項目 ※該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分    | 入学者選抜方法               | 該当する「学力の3要素」  |             |            |
|---------|-----------------------|---------------|-------------|------------|
|         |                       | 知識・技能         | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 前一般選抜   | 大学入学共通テスト             | ○             | ○           |            |
|         | 学力検査(数学、理科)           | ○             | ○           |            |
|         | 小論文                   | ○             | ○           |            |
|         | 面接                    | ○             | ○           | ○          |
|         | 調査書・志望理由書(地域医療枠志願者のみ) | 面接時の参考資料として利用 |             |            |
| 学校推薦型選抜 | 大学入学共通テスト             | ○             | ○           |            |
|         | 小論文                   | ○             | ○           |            |
|         | 面接                    | ○             | ○           | ○          |
|         | 調査書                   | ○             | ○           | ○          |
|         | 推薦書                   | ○             | ○           | ○          |
|         | 適正資質調査書               | ○             | ○           | ○          |
|         | 志望理由書(地域医療枠志願者のみ)     | ○             | ○           | ○          |

| 入試区分   | 入学者選抜方法     | 該当する「学力の3要素」  |             |            |
|--------|-------------|---------------|-------------|------------|
|        |             | 知識・技能         | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 留学生選抜  | 日本留学試験      | ○             | ○           |            |
|        | 学力検査(数学、理科) | ○             | ○           |            |
|        | 小論文         | ○             | ○           |            |
|        | 面接          | ○             | ○           | ○          |
|        | 成績証明書       | 面接時の参考資料として利用 |             |            |
| 帰国生選抜  | 学力検査(数学、理科) | ○             | ○           |            |
|        | 小論文         | ○             | ○           |            |
|        | 面接          | ○             | ○           | ○          |
|        | 出願書類        | 面接時の参考資料として利用 |             |            |
| 2年次編入学 | 小論文         | ○             | ○           |            |
|        | 面接          | ○             | ○           | ○          |
|        | 出願書類等       | 面接時の参考資料として利用 |             |            |

## 学費

入学時および在学中に授業料の改定が行われた場合は、新授業料を適用します。毎年2期(前期:4月、後期:10月)に分けて徴収します。

|     |          |     |              |
|-----|----------|-----|--------------|
| 入学科 | 282,000円 | 授業料 | 535,800円(年額) |
|-----|----------|-----|--------------|

■その他必要経費

| 入学時に必要な経費(予定)     | 金額                 |
|-------------------|--------------------|
| 刀城クラブ・同窓会終身会費     | 170,000円           |
| 後援会費(共用試験等受験料を含む) | 129,000円(119,000円) |
| 学生教育研究災害傷害保険料     | 4,800円(4,130円)     |
| 学研災付帯賠償責任保険料      | 3,000円(2,500円)     |
| 医療費補助会費           | 12,000円            |
| 荒牧クラブ・サークル協議会費    | 5,000円             |
| 学友会費              | 9,500円(8,000円)     |
| 合計                | 333,300円(320,630円) |
| テキスト代など           | 年間約150,000円程度      |

※( )内の金額は、編入学した場合

| 入学時に必要な経費(予定)  | 金額               |
|----------------|------------------|
| 同窓会終身会費        | 40,000円          |
| 後援会費           | 40,000円(20,000円) |
| 学生教育研究災害傷害保険料  | 3,370円(1,790円)   |
| 学研災付帯賠償責任保険料   | 2,000円(1,000円)   |
| 荒牧クラブ・サークル協議会費 | 5,000円           |
| 学友会費           | 4,000円(2,000円)   |
| 合計             | 94,370円(69,790円) |

学外実習  
 看護・検査技術科学専攻では一部の実習が学外で行われ、旅費の負担が必要です。理学・作業療法学専攻では臨床実習の大半が学外施設で行われ、旅費や場合により宿泊費等の費用が必要となります。

テキスト代など  
 年間50,000円～70,000円程度(専攻による)

※( )内の金額は、編入学した場合

## 保健学科 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) ~このような人を求めています~

- 人材育成の目標
- (1) 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
  - (2) 本学科での学修を通して、学士(看護学・保健学)に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
  - (3) 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
  - (4) 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
  - (5) 看護師・助産師・保健師、臨床検査技師・細胞検査士、理学療法士、作業療法士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

- 入学者に求める能力・資質
- ① 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
  - ② 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
  - ③ 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
  - ④ 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
  - ⑤ 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

■入学前に学習することが期待される内容  
 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること。

■入学者選抜の基本方針  
 本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

- 一般選抜 前期日程** ③～⑤に対しては大学入学共通テストを課し、①、③及び⑤に対しては小論文を課します。また、①及び②に対しては出願書類(調査書)により評価を行った上で、総合して判定します。
- 一般選抜 後期日程** ③～⑤に対しては大学入学共通テストを課し、①、③及び⑤に対しては小論文を課します。また、①及び②に対しては出願書類(調査書)により評価を行った上で、総合して判定します。
- 学校推薦型選抜** ①及び③～⑤に対しては小論文を、①及び②に対しては面接を課します。また、出願書類(調査書、推薦書)を加え、総合して判定します。
- 私費外国人留学生選抜** 日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身に付けているかどうかを判断するために日本留学試験を課しています。また、①、③及び⑤に対しては小論文を、①及び②に対しては面接を課します。さらに、成績証明書を加え、総合して判定します。
- 帰国生選抜** ①及び③～⑤に対しては小論文を、①及び②に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。
- 社会人選抜** ①及び③～⑤に対しては小論文を、①及び②に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。
- 3年次編入学** ③～⑤に対しては学力試験(専門科目、外国語)を、①及び②に対しては面接を課します。また、出身学校の成績証明書及び志望理由書等を加え、総合して判定します。

■入学者選抜方法における重点評価項目 ※該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

| 入試区分  | 入学者選抜方法   | 該当する「学力の3要素」  |             |            |
|-------|-----------|---------------|-------------|------------|
|       |           | 知識・技能         | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 前一般選抜 | 大学入学共通テスト | ○             | ○           |            |
|       | 小論文       | ○             | ○           |            |
|       | 調査書       | ○             | ○           | ○          |
| 後一般選抜 | 大学入学共通テスト | ○             | ○           |            |
|       | 小論文       | ○             | ○           |            |
|       | 調査書       | ○             | ○           | ○          |
|       | 面接        | ○             | ○           | ○          |
|       | 調査書・推薦書   | 面接時の参考資料として利用 |             |            |
| 留学生選抜 | 日本留学試験    | ○             | ○           |            |
|       | 小論文       | ○             | ○           |            |
|       | 面接        | ○             | ○           | ○          |
|       | 成績証明書     | ○             | ○           | ○          |

| 入試区分  | 入学者選抜方法        | 該当する「学力の3要素」  |             |            |
|-------|----------------|---------------|-------------|------------|
|       |                | 知識・技能         | 思考力・判断力・表現力 | 主体性・協働する態度 |
| 選 帰国生 | 小論文            | ○             | ○           |            |
|       | 面接             | ○             | ○           | ○          |
|       | 出願書類           | 面接時の参考資料として利用 |             |            |
| 選 社会人 | 小論文            | ○             | ○           |            |
|       | 面接             | ○             | ○           | ○          |
|       | 出願書類           | 面接時の参考資料として利用 |             |            |
| 編 3年次 | 学力試験(専門科目、外国語) | ○             | ○           |            |
|       | 面接             | ○             | ○           | ○          |
|       | 成績証明書及び志望理由書等  | ○             | ○           |            |

## 入学者選抜

■2024年度入学者選抜実施状況(2023年度実施)

| 募集人員 | 推薦        | 前期日程        | 帰国生 | 私費外国人留学生 |
|------|-----------|-------------|-----|----------|
| 募集人員 | 37(25,12) | 71(65,6)    | 若干名 | 若干名      |
| 志願者数 | 84(55,29) | 321(288,33) | 0   | 0        |
| 受験者数 | 84(55,29) | 192(171,21) | 0   | 0        |
| 合格者数 | 37(25,12) | 74(68,6)    | 0   | 0        |
| 入学者数 | 37(25,12) | 71(65,6)    | 0   | 0        |

※( )内は出願区分内訳(「一般枠」,「地域医療枠」) ※合格者には追加合格者を含みます。

|      | 看護学専攻 |     |     |      |      | 検査技術科学専攻 |     |     |      |      | 理学療法学専攻 |     |     |      |      | 作業療法学専攻 |     |     |      |      |     |    |   |
|------|-------|-----|-----|------|------|----------|-----|-----|------|------|---------|-----|-----|------|------|---------|-----|-----|------|------|-----|----|---|
|      | 推薦    | 帰国生 | 社会人 | 前期日程 | 後期日程 | 推薦       | 帰国生 | 社会人 | 前期日程 | 後期日程 | 推薦      | 帰国生 | 社会人 | 前期日程 | 後期日程 | 推薦      | 帰国生 | 社会人 | 前期日程 | 後期日程 |     |    |   |
| 募集人員 | 30    | 若干名 | 若干名 | 33   | 17   | 若干名      | 9   | 若干名 | 若干名  | 22   | 9       | 若干名 | 8   | 若干名  | 若干名  | 8       | 若干名 | 若干名 | 8    | 4    | 若干名 |    |   |
| 志願者数 | 74    | 0   | 0   | 56   | 118  | 1        | 46  | 0   | 0    | 83   | 164     | 1   | 27  | 0    | 1    | 24      | 46  | 1   | 15   | 0    | 11  | 31 | 0 |
| 受験者数 | 74    | 0   | 0   | 53   | 35   | 1        | 46  | 0   | 0    | 77   | 69      | 0   | 27  | 0    | 1    | 23      | 21  | 1   | 15   | 0    | 11  | 11 | 0 |
| 合格者数 | 31    | 0   | 0   | 38   | 19   | 1        | 11  | 0   | 0    | 23   | 12      | 0   | 9   | 0    | 0    | 10      | 4   | 0   | 10   | 0    | 8   | 5  | 0 |
| 入学者数 | 31    | 0   | 0   | 35   | 13   | 1        | 11  | 0   | 0    | 22   | 9       | 0   | 9   | 0    | 0    | 10      | 4   | 0   | 10   | 0    | 8   | 2  | 0 |

〈募集要項の発表時期〉

志願者の利便性向上および入試業務の効率化等を図るため、一般選抜(前期日程・後期日程)、特別選抜(学校推薦型選抜、帰国生・社会人選抜、私費外国人留学生選抜)でインターネット出願を導入しています。

※編入学の募集要項はHPで公開中です。

インターネット出願  
 学生募集要項  
 9月中旬公表(予定)